令和７年度第２回　福知山市行政改革推進委員会

日　時：６月９日（月）
　　午前１０時１５分から
場　所：市民交流プラザ　会議室４－１

《　次　　第　》

開会

１　報告事項
（１）ＤＸ推進の取組状況について
（２）福知山市２０４０年市民会議について

２　議事
（１）令和７年度施策レビュー（二次レビュー）について

閉会

【配布資料】
資料１　　DX 推進の取組状況について
資料２－１　福知山市２０４０年市民会議について
資料２－２　福知山市　地域の未来予測
資料２－３　福知山市２０４０年市民会議　プレスリリース資料
資料３－１　施策レビュー当日資料
資料３－２　施策体系シート
資料３－３　施策レビュー改善シート
資料３－４　施策レビューに関するアンケート

資料１

ＤＸ推進の取組状況について

市長公室　ＤＸ推進課

「福知山市行政改革大綱2022-2026」における4つの基本方針

基本方針１：価値共創によるパートナーシップの推進

基本方針２：ＤＸの推進とＩＣＴを徹底活用した業務運営の早期実用化

基本方針３：福知山市職員としての資質の向上

基本方針４：持続可能で質の高い行財政運営の確立

１．基本方針２で定める取組項目

取組項目	指標	R5年度末	R6年度末	R7目標値	R8目標値
全庁的かつ横断的なＤＸ推進体制の整備	ＤＸ推進員の育成	20人 （累計）	29人 （累計）	40人 （累計）	50人 （累計）
業務フローの見直し及び標準化	見直した業務フロー数	23件 （実装数）	86件 （実装数）	120件 （実装数）	240件
行政手続の徹底的なオンライン化	国民の利便性向上に資する手続きのオンライン化率	21％	34.4％	50％	70％
AIやRPAを活用した業務プロセスの構築	業務プロセスでAIやRPAなどICT技術の活用を図った業務及び削減時間数	22業務 1,323時間	25業務 1,909時間	40業務 2,500時間	50業務 3,000時間

２．指標達成に向けた取組状況

（１）ＤＸ推進員の育成

①育成方針

1年目研修（基礎力の習得）

・ＤＸに関する基本的な知識や、BPMNに準拠した業務フロー図作成方法等を学び、成果発表会において、改善の目的・内容・期待される効果等を説明できるようになることを目指す

・主なテーマ：マインドセット、業務フロー作成、ＲＰＡ、ウォーターフォール、ＢＰＲの実践など

2年目研修（活用可能な能力の拡張）

・目的や到達点を共有して組織的に取り組むために必要なプロセスやプロジェクト管理、課題の発見や根拠を説明するデータサイエンス等について学び、それを活かして業務改善に取り組む

・主なテーマ：プロジェクト管理、データサイエンス、ＢＰＲの実践

3年目研修（能力の高度化、実践）

・1年目、2年目で得た業務知識を更に活用するため、データベースに関して学び、業務改善に取り組む

・主なテーマ：データベース概論、Kintone研修、ＢＰＲの実践

4年目以降（令和7年度以降の取組方針）

・ＤＸサポーターとして、知識と能力を活かし業務改善を支援（知識定着・更新のための研修受講も可）

②実装事例（56件実装/119件提案）※他21件が実装に向けて調整中

【高額療養費支給申請手続の簡素化】

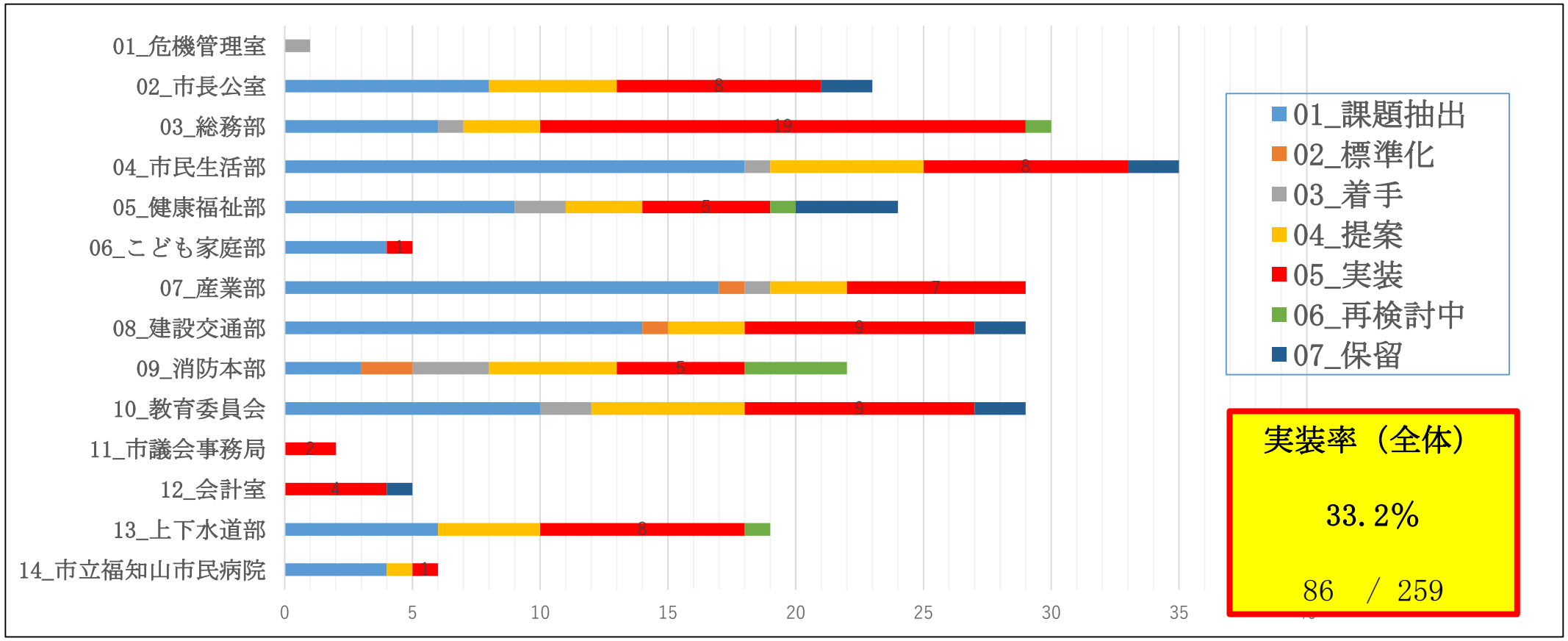
（課題）❶年間3,000件以上の申請書受理と支給決定　❷月単位での申請　❸領収書等の書類添付

（改善）業務フローを根本から見直し、要綱改正＆自動振込（2回目以降）を実現

★書類16,600枚削減、申請者の来庁不要、窓口対応時間575時間削減など840時間の削減効果

（２）見直した業務フロー数

・ＤＸ推進員中心の取組（R4～R5）からスタートし、令和6年度より全庁的な取組に進化
　→各所属より業務フロー見直し
・各所属での取組に位置付け、全体の進捗状況をデータベースを構築して管理



※令和7年度以降の取組方針：各部の業務フロー見直しの取組加速にむけ、ＤＸサポーターによる伴走支援を行います。

（３）国民の利便性向上に資する手続きのオンライン化率

・国のマイナポータルからオンライン申請ができる「ぴったりサービス」の候補に挙げられている手続のうち、７０％以上を利用できるようにすることを目標

	部名	マイナポータルに登録されている手続		
		対象手続数	対応済	対応率
1	市長公室	3	3	100.0%
2	総務部	9	2	22.2%
3	市民生活部	23	12	52.2%
4	健康福祉部	62	21	33.9%
5	こども家庭部	73	33	45.2%
6	産業部	1	1	100.0%
7	建設交通部	9	0	0.0%
8	消防	23	0	0.0%
9	教育委員会	8	3	37.5%
10	市議会	12	0	0.0%
11	会計室	1	0	0.0%
12	上下水道部	3	3	100.0%
	合計	227	78	34.4%

令和６年度までの取組内容

・まずは「子育て世代」に関わる手続のオンライン化を進め、介護など福祉部門など全世代へと広げる

・対象手続数が多いため、取組初期は対象者数の多寡なども踏まえて効率的、効果的に取組を進める

・オンライン化ツール（Logoフォーム）を導入

令和７年度以降の取組方針

・未対応手続きの対応促進（所属からの相談受付、ツールの研修会の開催、ＤＸ推進員のBPR課題としての連携対応）

・オンライン化対象手続きの見直し（BPRや制度改正によりオンライン申請対応の必要がなくなったもの等の取扱を検討中）

※例：国民健康保険の高額療養費支給申請

⇒　BPR対応（簡素化）により、申請なしで自動的に給付されるように改善済み

（４）業務プロセスでAIやRPAなどICT技術の活用を図った業務及び削減時間数

ICT技術を活用して効率化を図った業務（令和6年度運用開始分）

改善手段	業務内容	業務数	削減時間
ＡＩ－ＯＣＲ	新文化ホール市民説明会アンケートなど →職員がアンケート結果（紙）を手入力していたものをデータ化	5業務	約31時間
ＲＰＡ	各種システムへのデータ入力作業をＲＰＡで処理することで、職員の作業時間を削減	7業務	約346時間
ＶＢＡ	事務事業評価シートの様式変更に伴う転記作業を実施（806事業分）	2業務	約104時間

※令和7年度以降の取組方針：新たな業務改善ツールを導入し、更なる業務改善（効率化）を促進します。

【ＡＩ-ＯＣＲ】（AI-Optical Character Recognition）
　手書きの書類や帳票の読み取りを行いデータ化する「ＯＣＲ」とＡＩ技術を組み合わせたもので、機械学習により文字認識率の向上や、帳票の読取位置や項目を自動で抽出しデータ化を行う技術のこと。

【ＲＰＡ】（Robotic Process Automation）
　ＲｏｂｏｔｉｃＰｒｏｃｅｓｓＡｕｔｏｍａｔｉｏｎの略で、人間がコンピュータ上で行っている定型作業を自動化すること。

【ＶＢＡ】（Visual Basic for Application）
　Excelなどマイクロソフト製品に組み込まれている「プログラミング言語」で、簡単に言えば「Excelでよく行う作業を自動化できる道具」です。

資料２－１

福知山市２０４０年市民会議について

市長公室経営戦略課

１　福知山市２０４０年市民会議について

各種推計データを基に想定し得る地域課題について市民と共有し、未来を一緒に考え課題に対応するための方向性について議論を行う福知山市２０４０年市民会議を設置し、福知山市の「地域の未来予測」に基づき、市民と議論を行う。

議論の結果については、市民会議の参加者だけでなく、市民に広く周知する。また、令和８年度は次期まちづくり構想策定時期であることから、次期構想にも反映していく。

無作為抽出により参画

無作為抽出市民
（100名程度）

市職員（データ利活用部会）

データ利活用部会
（約50名）

福知山市の「地域の未来予測」の分野

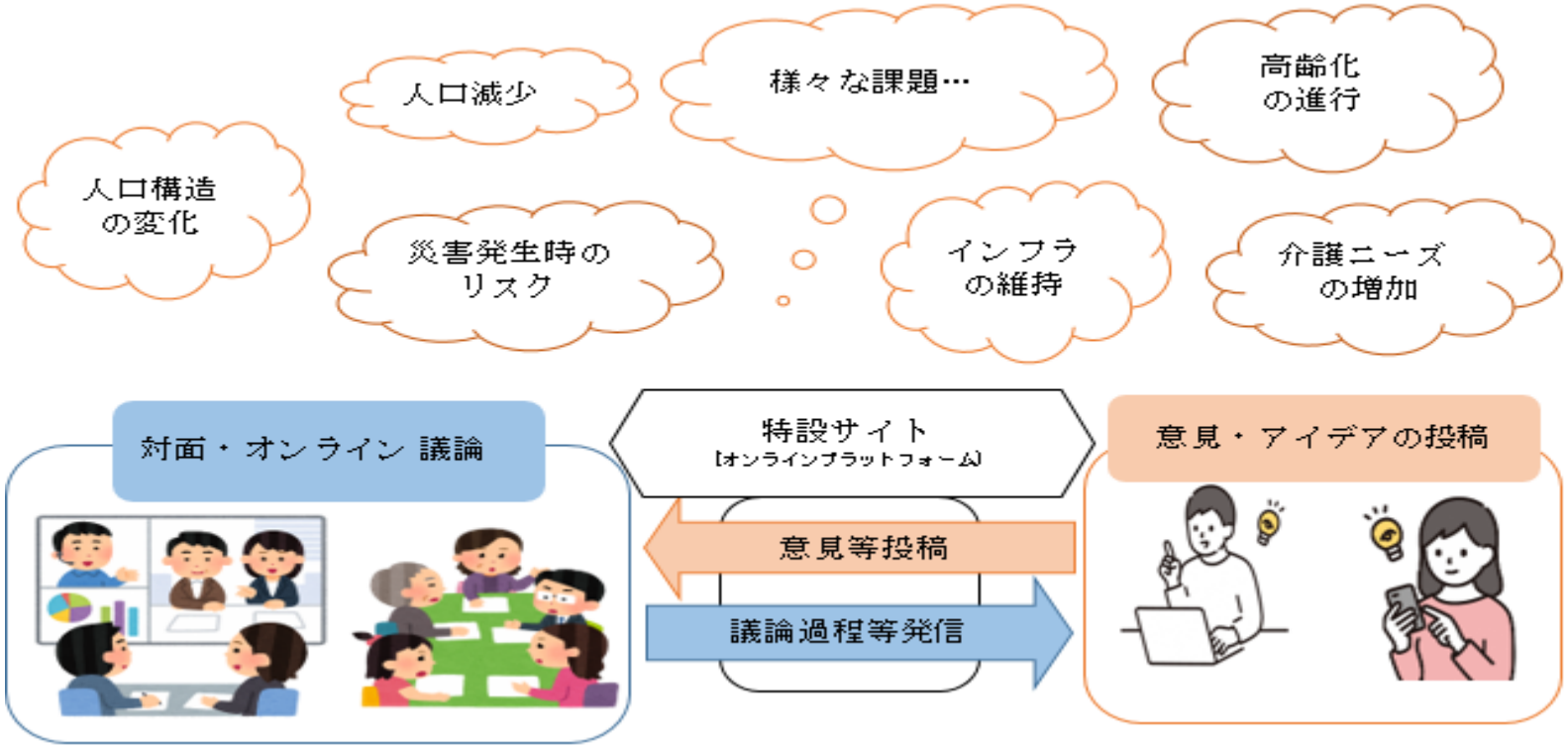
- 人口
- 子育て・教育
- 医療・介護
- 衛生
- 消防
- 農林業
- 環境・エネルギー
- 施設・インフラ
- 市の財政

２　実施内容について

人口減少が進む中にあっても、市民が希望を持って住み続けられる持続可能なまちづくりを進めることを目的とし、市民に参画いただき、２０４０年に生じ得る本市の変化、課題を想定し対応するための方向性について議論を行う。

また、会議で議論を行うテーマに対し、市民がｗｅｂ上から意見やアイデアの投稿、コメント等が行える特設サイト（オンラインプラットフォーム）を設置し、会議の内容について発信するとともに広く意見を募集していく。

福知山市２０４０年市民会議イメージ



３　スケジュール（予定）

令和７年６月～令和８年３月の間に対面・オンラインによる会議を５回開催し、「地域の未来予測」を基に福知山市の将来課題や本市の目指す未来像について共有・議論し、市が取り組むべき方策等について提言を発表する。

第１回市民会議
令和７年６月２２日（日）
会場：福知山公立大学

↓

第２回市民会議
令和７年８月予定

↓

第３回市民会議
令和７年１０月予定

↓

第４回市民会議
令和７年１２月予定

↓

第５回市民会議
令和８年２月予定

会議のイメージ（185分）

コーディネーター1名
部会ファシリテーター5名

・福知山市の地域の未来予測の共有

・有識者による講演各回3名程度
（対面・オンライン）

・部会（5部会に分ける）での議論

・議論内容の発表

・第5回会議で提言発表

資料２－２

福知山市

「地域の未来予測」

令和7年5月

「地域の未来予測」作成趣旨と「データの分野」の考え方

福知山市「地域の未来予測」の作成趣旨

人口減少や少子高齢化が深刻化する中で、65歳以上人口がピークを迎え様々な社会問題が表面化するとされている2040年を見据え、本市において将来起こり得る課題を予測し、それらの課題を市民のみなさまと共有し適切に対応していくため、様々な分野における本市の2040年までの客観的なデータにもとづき、「地域の未来予測」を作成しました。

福知山市の人口は2040年には67,598人となり、2020年の77,306人を基準とすると、**2040年には約12.6%、9,708人減少する**ことが予測されます。

人口減少については全国的な問題であるため、抜本的な対策は国を挙げて検討していく必要があると考えられますが、自治体においてもできる限りの対策を行うものの、人口減少、東京圏への一極集中などの大きな流れは変わっていません。こうした状況の中で、人口減少社会に対応できるまちをめざした取組みが必要です。

今後、この「地域の未来予測」をもとに、本市の将来課題に対応するための方向性等について、市民のみなさまと一緒に考えながら持続可能なまちづくりを進めていきます。

「地域の未来予測」作成趣旨と「データの分野」の考え方

データの分野の考え方

総務省「地域の未来予測に関する検討ワーキンググループ報告書」に基づき、各分野の推計の前提となる人口の減少や、高齢化等の人口構造の変化を基礎とした長期的推計が可能である分野（子育て・教育、医療、介護、衛生、消防、農業）に加え、施設・インフラなどについてのデータを取りまとめました。

- 人口
- 子育て・教育
- 医療
- 介護
- 衛生
- 消防
- 農林業
- 施設・インフラ
- 市の財政

データの分野と項目一覧

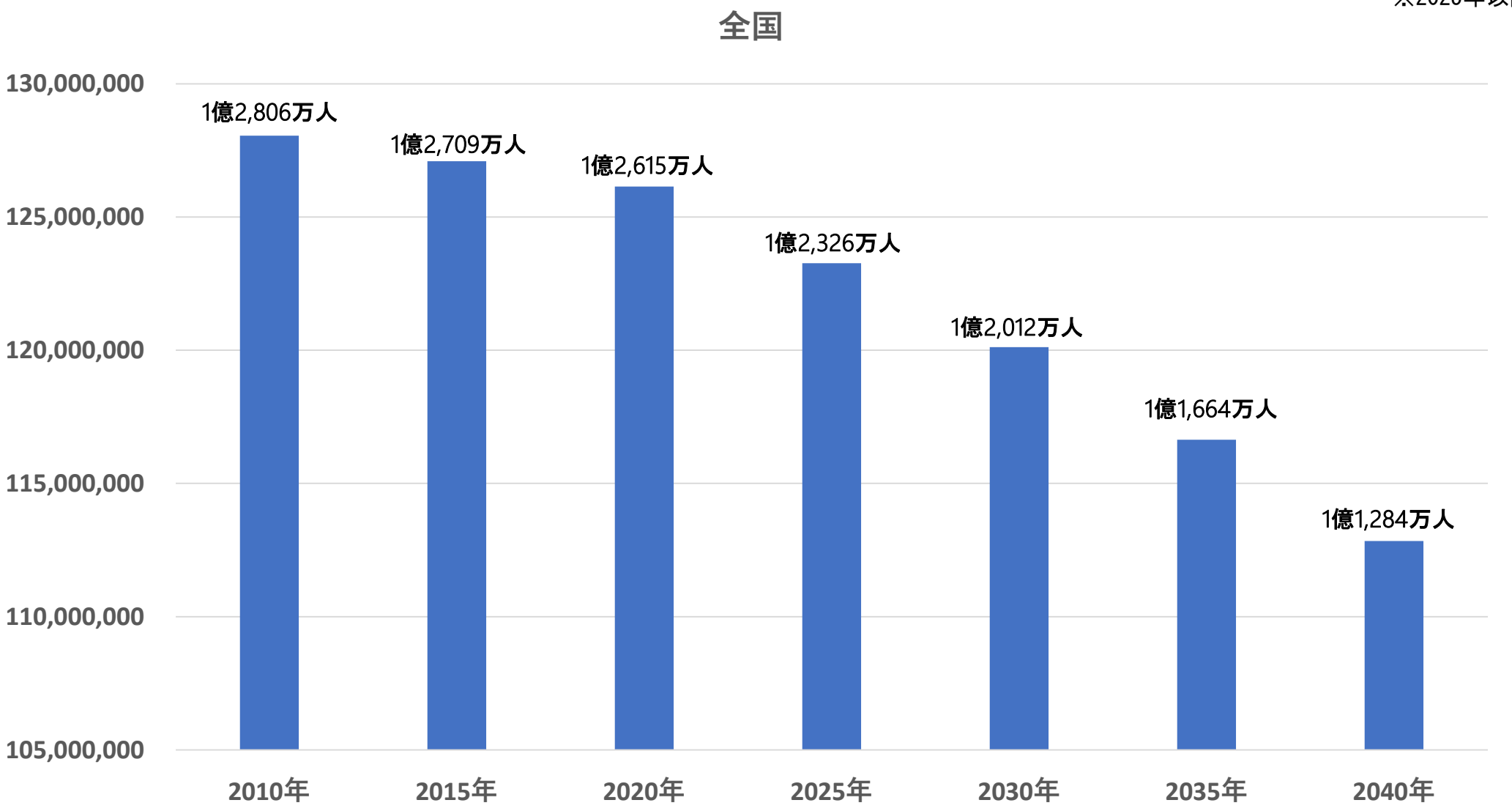
分野	No.	項目
人口	1-1	将来推計人口（年齢３区分別人口）
	1-2	年齢階層別人口移動の推移
	1-3	年齢階層別人口移動の推移（男女別）
	1-4	人口ピラミッド
	1-5	男女別人口（20～29歳）
	1-6	高齢者数（65歳以上，75歳以上，85歳以上）
子育て・教育	2-1	0～5歳児数
	2-2	小学生数，中学生数
医療	3-1	医療需要
介護	4-1	要支援・要介護度別人数
	4-2	認知症の人の数（65歳以上人口）

分野	No.	項目
衛生	5-1	上下水道施設の経年化
	5-2	有収水量
	5-3	家庭ごみ・事業ごみ（産業廃棄物除く）1人1日当たり排出量
消防	6-1	出動件数と搬送人員
農林業	7-1	農家数・農業従事者数
施設・インフラ	8-1	市有公共施設（ハコモノ）の築年数区分別の延床面積割合
市の財政	9-1	社会保障関連経費（福祉に使うお金）

（参考）日本の将来推計人口

出典：総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

※2025年以降は推計データ



【人口】将来推計人口（年齢３区分別人口）

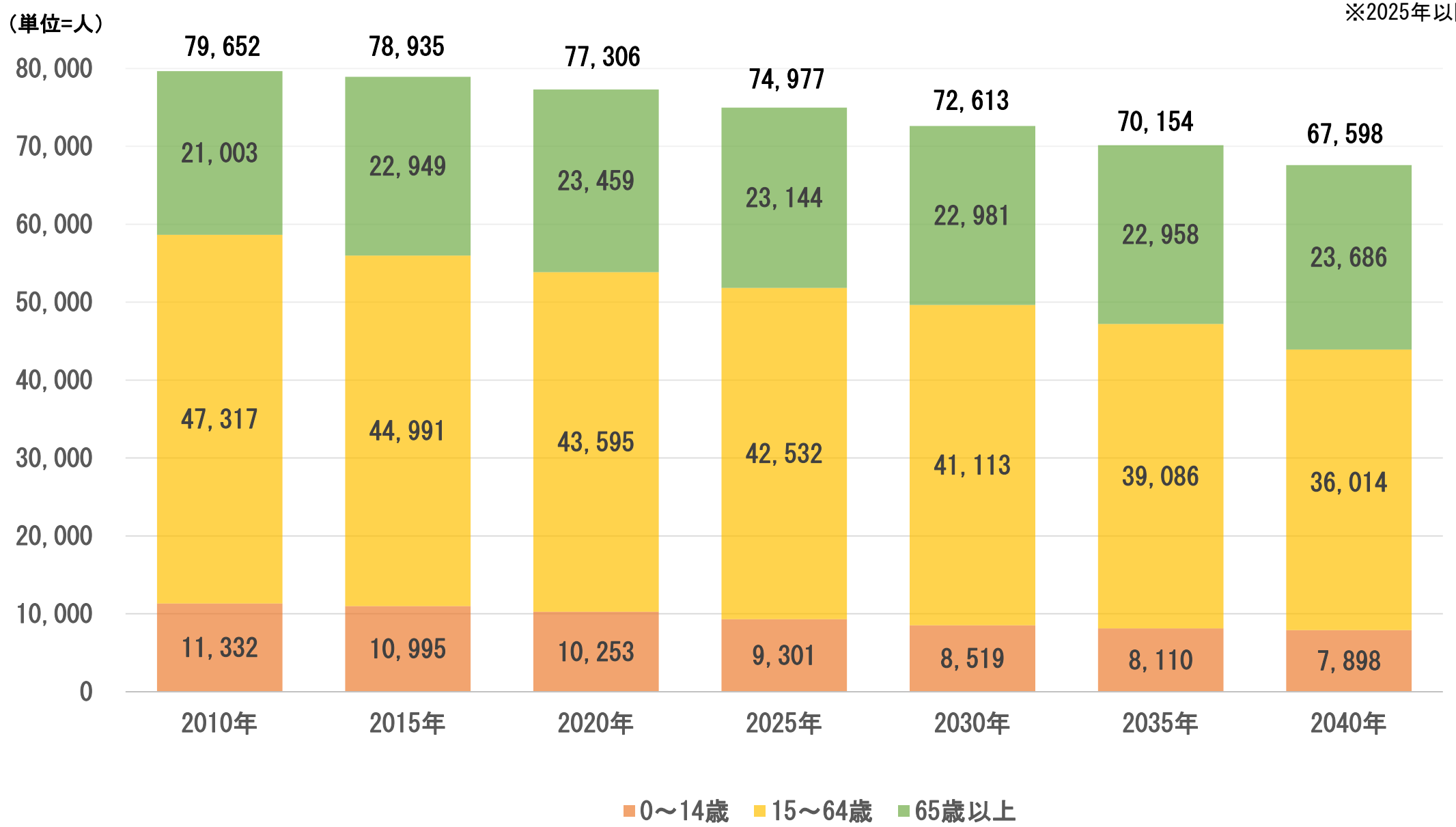
出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データの概要	総人口は減少し続け、2020年から2040年にかけて約9,700人減少するが、高齢者数は増加する。 【2020年→2040年増減率】0～14歳：23.0%減　15～64歳：17.4%減　65歳以上：1.0 %増 ※グラフは次ページ
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	**〇地域経済への影響** ・住民の消費活動が減少し、地域の商業活動等が縮小するおそれがある。 ・地元企業や農業などで働く人が減少し地域の経済活動が停滞するおそれがある。 **〇地域コミュニティへの影響** ・同じ人が何度も自治会の役員をしなければならなくなったり、地域の行事や作業に取り組める人が減るなど、自治会活動にかかる負担が増えるおそれがある。 ・地域住民同士が繋がる機会が減り、災害発生時の地域内での共助の力が弱まるおそれがある。 ・地域社会の絆が弱まり、孤立したり、支援が得られにくくなったりするおそれがある。 ・住宅が空き家となるケースが増え、地域の景観や治安などに悪影響が生じるおそれがある。 ・高齢者が増えることで、詐欺や犯罪の被害者となるケースが増えるおそれがある。 **〇地域文化や伝統への影響** ・地域の文化や伝統を次世代に伝える世代が減少し、地域行事や伝統文化の継承が難しくなるおそれがある。 **〇公共交通への影響** ・バスや鉄道の利用者がさらに減ることで収益が悪化し、路線の維持が難しくなるおそれがある。 **〇観光業への影響** ・全国的な人口減少により国内旅行者も減少し、観光消費額が減少するおそれがある。 **〇行政サービスへの影響** ・行政職員数が減少し、行政サービスが縮小するおそれがある。 **〇子育て、教育への影響（2-1、2-2参照）** **〇医療への影響（3-1参照）** **〇介護への影響（4-1、4-2参照）** **〇衛生への影響（5-1、5-2、5-3参照）** **〇消防への影響（6-1参照）** **〇農林業への影響（7-1参照）** **〇施設・インフラへの影響（8-1参照）** **〇市の財政への影響（9-1参照）** このように人口減少が進むと様々な問題が複合的に影響し、現在の市民生活に深刻な影響を及ぼすことが想定される。一方で、人口減少は、生活環境への負荷の軽減、より密接なコミュニティ形成などができる可能性もある。 また、AIなどの技術革新により、人員不足をカバーできるようになる可能性がある。

【人口】将来推計人口（年齢３区分別人口）

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

※2025年以降は推計データ



（参考）将来推計人口（京都府北部7市町）

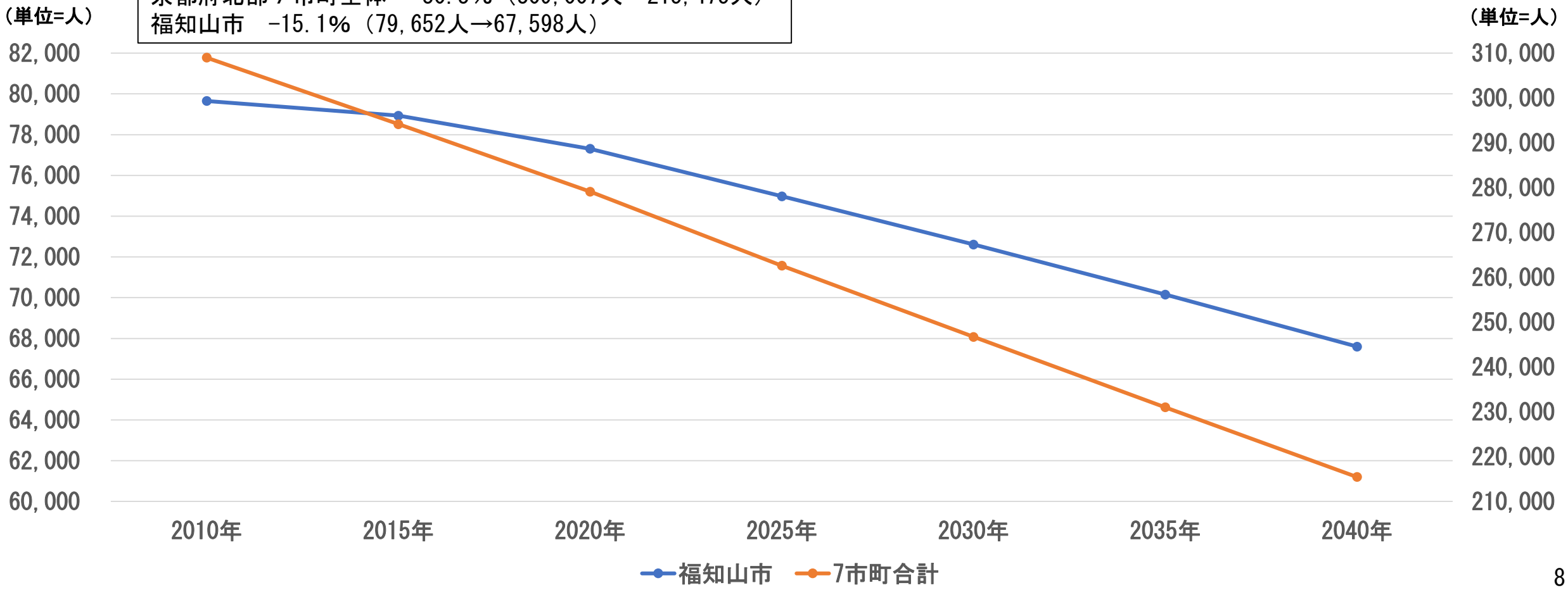
出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
※京都府北部7市町：福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町

データの概要

京都府北部7市町の圏域においては、福知山市の人口は比較的緩やかに減少する。

【人口減少率（2010年→2040年）】
京都府北部７市町全体　-30.3%（309,007人→215,475人）
福知山市　-15.1%（79,652人→67,598人）

※2025年以降は推計データ



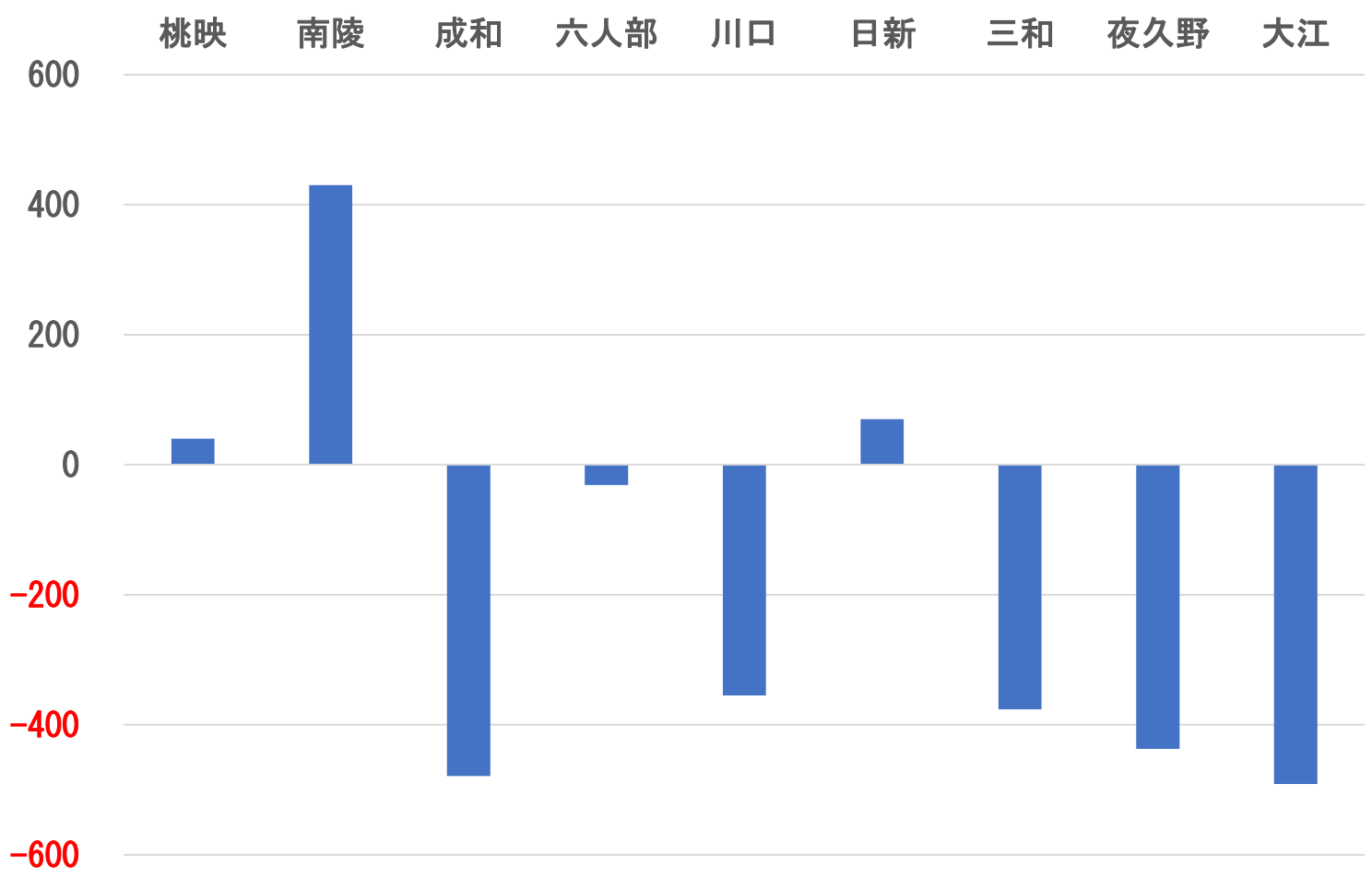
（参考）過去の中学校区別人口増減（2015年→2020年）

出典：総務省「国勢調査」

データの概要

地域によって人口の増減に大きな差がある。

（単位=人）



中学校区	2015年	2020年	増減数	増減率
桃映	9,541人	9,581人	40	0.4%
南陵	19,910人	20,340人	430	2.2%
成和	10,138人	9,659人	-479	-4.7%
六人部	6,991人	6,960人	-31	-0.4%
川口	3,390人	3,035人	-355	-10.5%
日新	17,611人	17,681人	70	0.4%
三和	3,424人	3,048人	-376	-11.0%
夜久野	3,504人	3,067人	-437	-12.5%
大江	4,426人	3,935人	-491	-11.1%

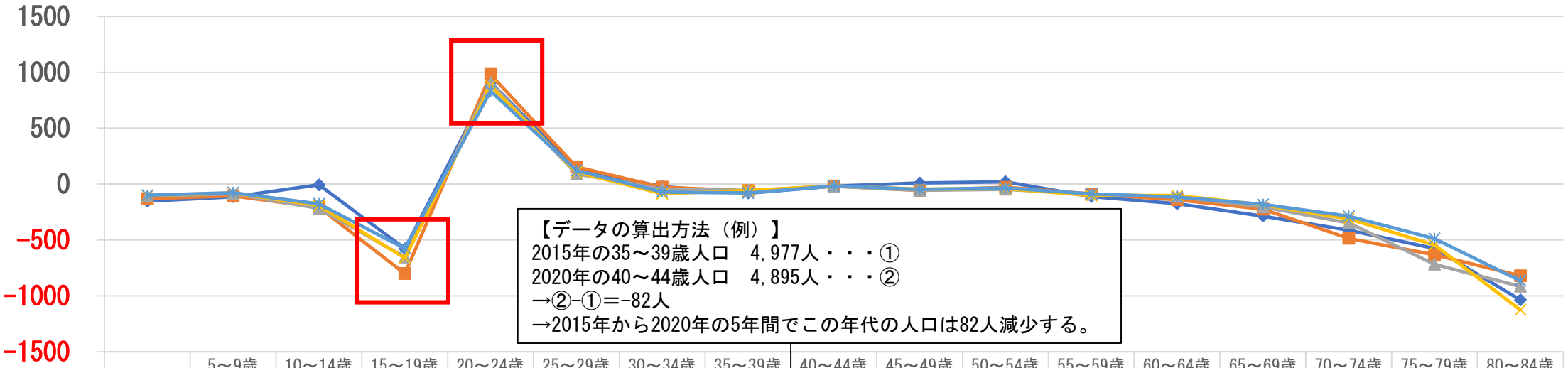
【人口】 年齢階層別人口移動の推移

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データの概要	人口移動状況は現状に引き続き2040年も維持される。15～19歳から20～24歳の減少数が大きく、進学や就職などによる転出が要因と推測される。20～24歳から25～29歳の移動結果より、一定のUIJターン者数が見込まれる。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・若年層の流入は地域産業に新たな活力をもたらし、長期的な経済成長を支える要因の一つとなる可能性がある。 ・若者をターゲットにした商品やサービスの提供が行いやすくなる可能性がある。 ・若い世代が地域にとどまり、定住することで出生率の向上や地域コミュニティの維持、活性化につながる可能性がある。 など

（単位=人）

※（　）内の数値は減少を表す



	0～4歳→5～9歳	5～9歳→10～14歳	10～14歳→15～19歳	15～19歳→20～24歳	20～24歳→25～29歳	25～29歳→30～34歳	30～34歳→35～39歳	35～39歳→40～44歳	40～44歳→45～49歳	45～49歳→50～54歳	50～54歳→55～59歳	55～59歳→60～64歳	60～64歳→65～69歳	65～69歳→70～74歳	70～74歳→75～79歳	75～79歳→80～84歳	80～84歳→85～89歳
2015年→2020年	(154)	(114)	(7)	(579)	909	134	(23)	(82)	(20)	9	20	(112)	(176)	(287)	(413)	(576)	(1,037)
2020年→2025年	(131)	(106)	(208)	(802)	980	153	(29)	(59)	(18)	(58)	(30)	(89)	(141)	(225)	(486)	(633)	(821)
2025年→2030年	(109)	(86)	(219)	(654)	907	91	(47)	(58)	(20)	(56)	(47)	(91)	(112)	(205)	(348)	(718)	(916)
2030年→2035年	(103)	(80)	(192)	(662)	879	108	(87)	(57)	(16)	(45)	(41)	(103)	(103)	(186)	(311)	(545)	(1,125)
2035年→2040年	(101)	(77)	(177)	(576)	832	121	(71)	(81)	(17)	(47)	(35)	(89)	(117)	(182)	(288)	(488)	(865)

【人口】 年齢階層別人口移動の推移（男女別）

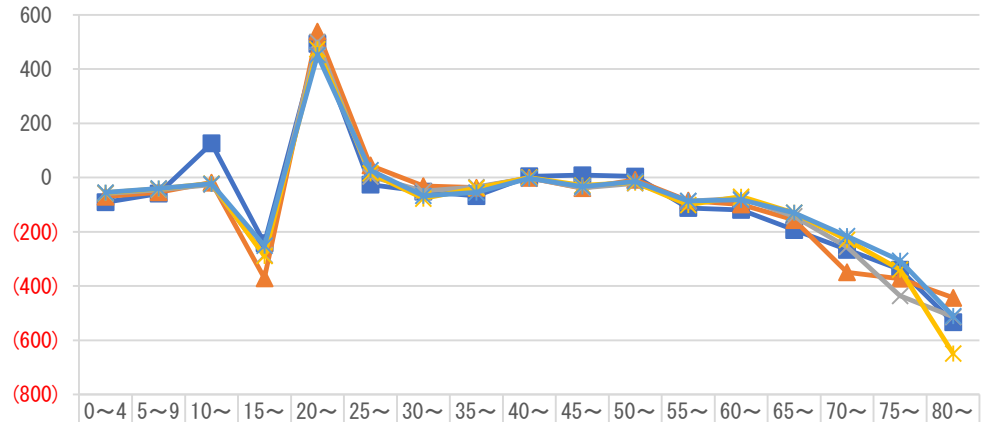
出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データの概要	15～19歳から20～24歳では、男女ともに流出数が多い。 20～24歳から25～29歳では男性の方が流入数が多いが、25～29歳から30～34歳にかけて女性の方が流入数が多くなる。 →男女で流入のタイミングに違いは見られるものの、2040年においても若年層の一定の流入が見込まれる。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	（1-2参照）

※（　）内の数値は減少を表す

（単位=人）

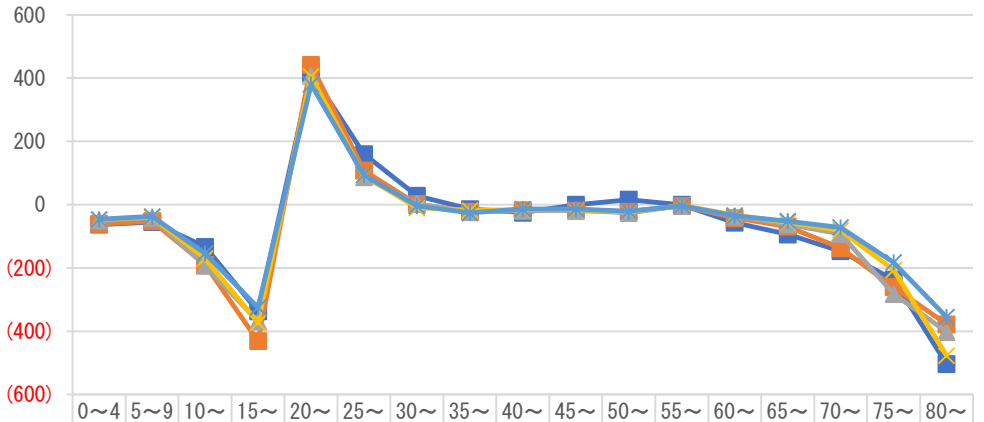
男



	0～4歳→5～9歳	5～9歳→10～14歳	10～14歳→15～19歳	15～19歳→20～24歳	20～24歳→25～29歳	25～29歳→30～34歳	30～34歳→35～39歳	35～39歳→40～44歳	40～44歳→45～49歳	45～49歳→50～54歳	50～54歳→55～59歳	55～59歳→60～64歳	60～64歳→65～69歳	65～69歳→70～74歳	70～74歳→75～79歳	75～79歳→80～84歳	80～84歳→85～89歳
2015年→2020年	(91)	(59)	126	(242)	493	(26)	(51)	(68)	5	9	4	(112)	(119)	(193)	(266)	(339)	(533)
2020年→2025年	(70)	(54)	(18)	(371)	538	45	(31)	(37)	(1)	(39)	(8)	(85)	(99)	(156)	(349)	(373)	(443)
2025年→2030年	(59)	(45)	(26)	(285)	500	4	(50)	(35)	(1)	(38)	(21)	(87)	(76)	(143)	(256)	(436)	(514)
2030年→2035年	(56)	(41)	(22)	(289)	473	16	(77)	(39)	0	(29)	(18)	(101)	(70)	(130)	(230)	(339)	(648)
2035年→2040年	(55)	(40)	(23)	(251)	452	27	(67)	(55)	(3)	(33)	(14)	(86)	(82)	(130)	(216)	(306)	(510)

（単位=人）

女



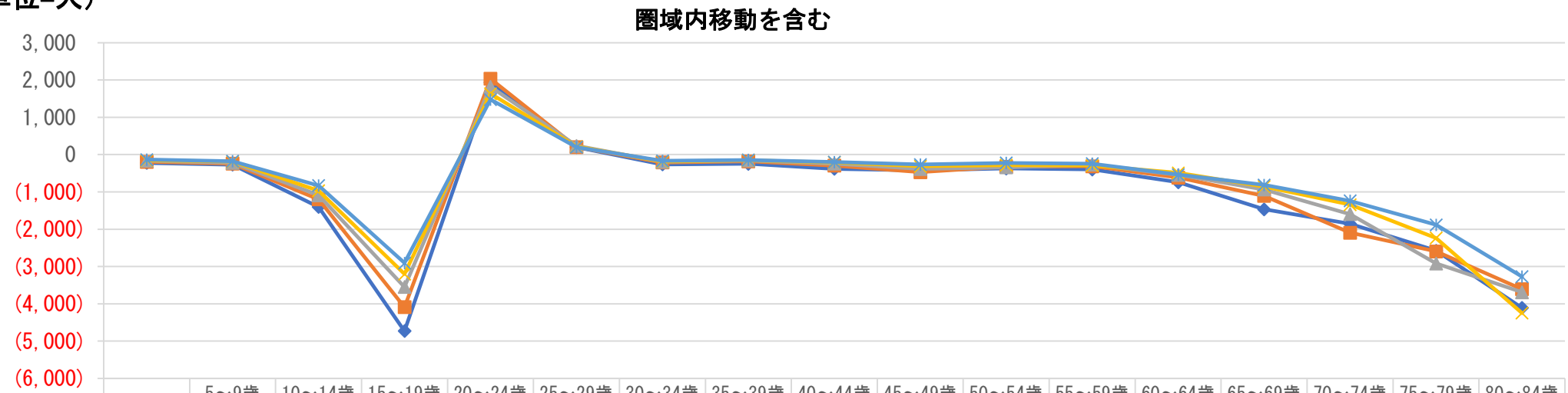
	0～4歳→5～9歳	5～9歳→10～14歳	10～14歳→15～19歳	15～19歳→20～24歳	20～24歳→25～29歳	25～29歳→30～34歳	30～34歳→35～39歳	35～39歳→40～44歳	40～44歳→45～49歳	45～49歳→50～54歳	50～54歳→55～59歳	55～59歳→60～64歳	60～64歳→65～69歳	65～69歳→70～74歳	70～74歳→75～79歳	75～79歳→80～84歳	80～84歳→85～89歳
2015年→2020年	(63)	(55)	(133)	(337)	416	160	28	(14)	(25)	0	16	0	(57)	(94)	(147)	(237)	(504)
2020年→2025年	(61)	(52)	(190)	(431)	442	108	2	(22)	(17)	(19)	(22)	(4)	(42)	(69)	(137)	(260)	(378)
2025年→2030年	(50)	(41)	(193)	(369)	407	87	3	(23)	(19)	(18)	(26)	(4)	(36)	(62)	(92)	(282)	(402)
2030年→2035年	(47)	(39)	(170)	(373)	406	92	(10)	(18)	(16)	(16)	(23)	(2)	(33)	(56)	(81)	(206)	(477)
2035年→2040年	(46)	(37)	(154)	(325)	380	94	(4)	(26)	(14)	(14)	(21)	(3)	(35)	(52)	(72)	(182)	(355)

（参考） 年齢階層別人口移動の推移（京都府北部7市町）

出典：京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会「地域の未来予測」（令和５年２月）
※京都府北部7市町：福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町

推計結果の概要	人口移動状況の長期的動向では、15～19歳から20～24歳の減少数が最も大きく、進学や就職などによる転出が要因と推測される。20～24歳から25～29歳の移動結果より、圏域へのUIJターン者数は少ない。
想定される変化・課題	高校卒業後、圏域外に転出した者の圏域内への戻りは約半数で、若年人口減少による労働力・担い手不足に加え、少子化・人口減少が加速する。

（単位=人）



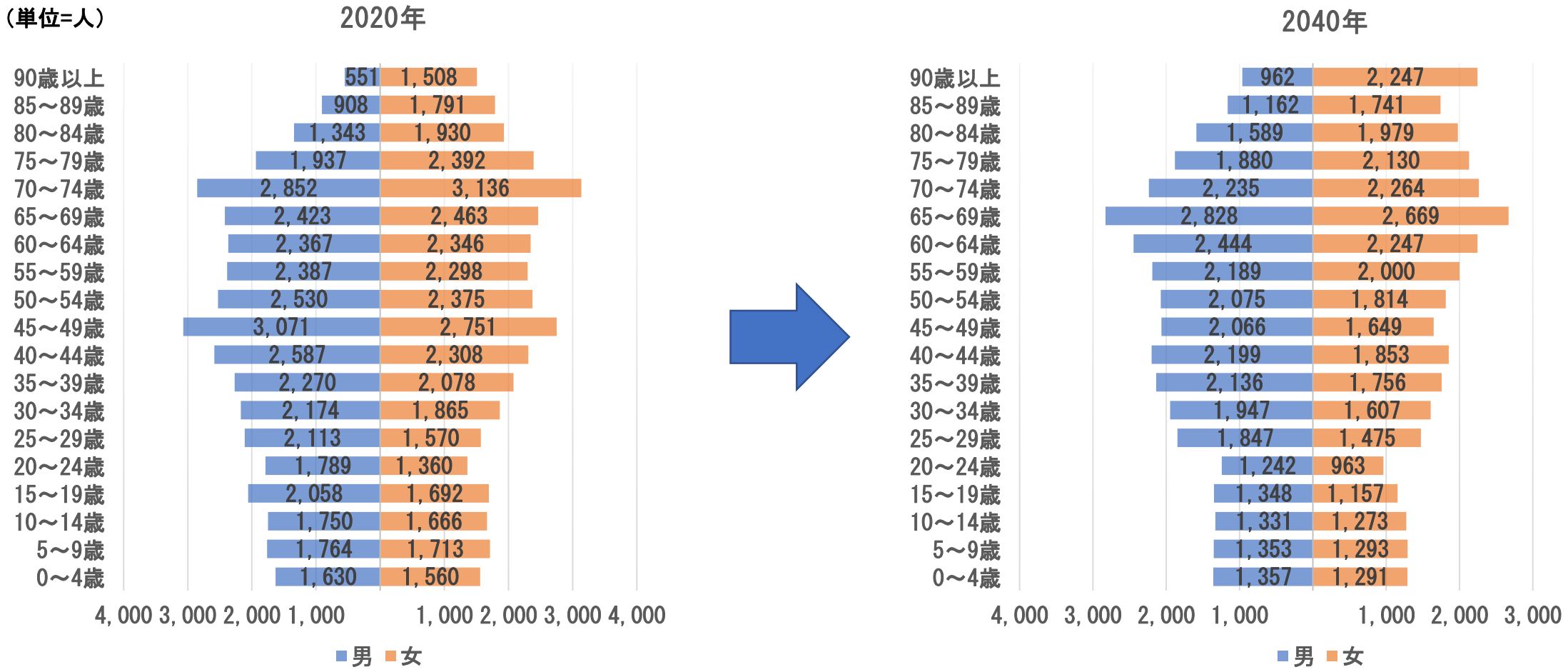
	0～4歳→5～9歳	5～9歳→10～14歳	10～14歳→15～19歳	15～19歳→20～24歳	20～24歳→25～29歳	25～29歳→30～34歳	30～34歳→35～39歳	35～39歳→40～44歳	40～44歳→45～49歳	45～49歳→50～54歳	50～54歳→55～59歳	55～59歳→60～64歳	60～64歳→65～69歳	65～69歳→70～74歳	70～74歳→75～79歳	75～79歳→80～84歳	80～84歳→85～89歳
2015年→2020年	(223)	(270)	(1,403)	(4,731)	1,939	201	(263)	(245)	(381)	(424)	(372)	(397)	(742)	(1,467)	(1,855)	(2,575)	(4,111)
2020年→2025年	(193)	(242)	(1,200)	(4,090)	2,035	204	(211)	(180)	(294)	(470)	(326)	(312)	(616)	(1,108)	(2,094)	(2,597)	(3,609)
2025年→2030年	(164)	(220)	(1,091)	(3,549)	1,821	236	(193)	(158)	(241)	(384)	(343)	(270)	(543)	(935)	(1,595)	(2,920)	(3,691)
2030年→2035年	(153)	(188)	(970)	(3,203)	1,635	217	(187)	(150)	(210)	(311)	(282)	(293)	(489)	(858)	(1,343)	(2,237)	(4,250)
2035年→2040年	(135)	(175)	(831)	(2,905)	1,476	199	(167)	(144)	(201)	(267)	(223)	(242)	(537)	(814)	(1,239)	(1,883)	(3,273)

【人口】人口ピラミッド

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データの概要	若年層は減少する一方で、高齢者数は増加する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・若者が地域に少なくなり、多様な視点や価値観や役割が地域社会からさらに不足することになり、地域の活性化や創造的な活動に制限が生じるおそれがある。　など

（単位=人）



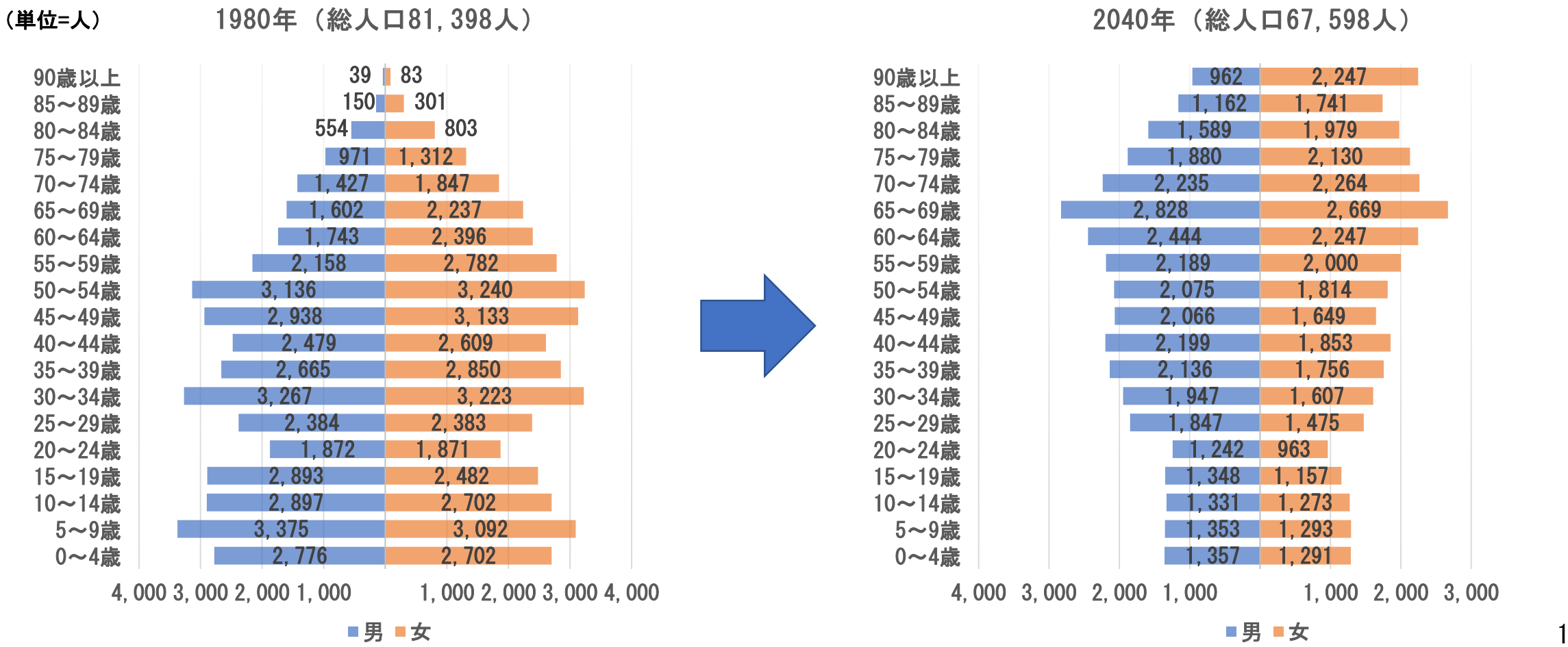
（参考）人口ピラミッド（1980年→2040年）

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データの概要	若年層は減少する一方で、高齢者数は増加する。

※2040年は推計データ

（単位=人）



【人口】男女別人口（20～29歳）

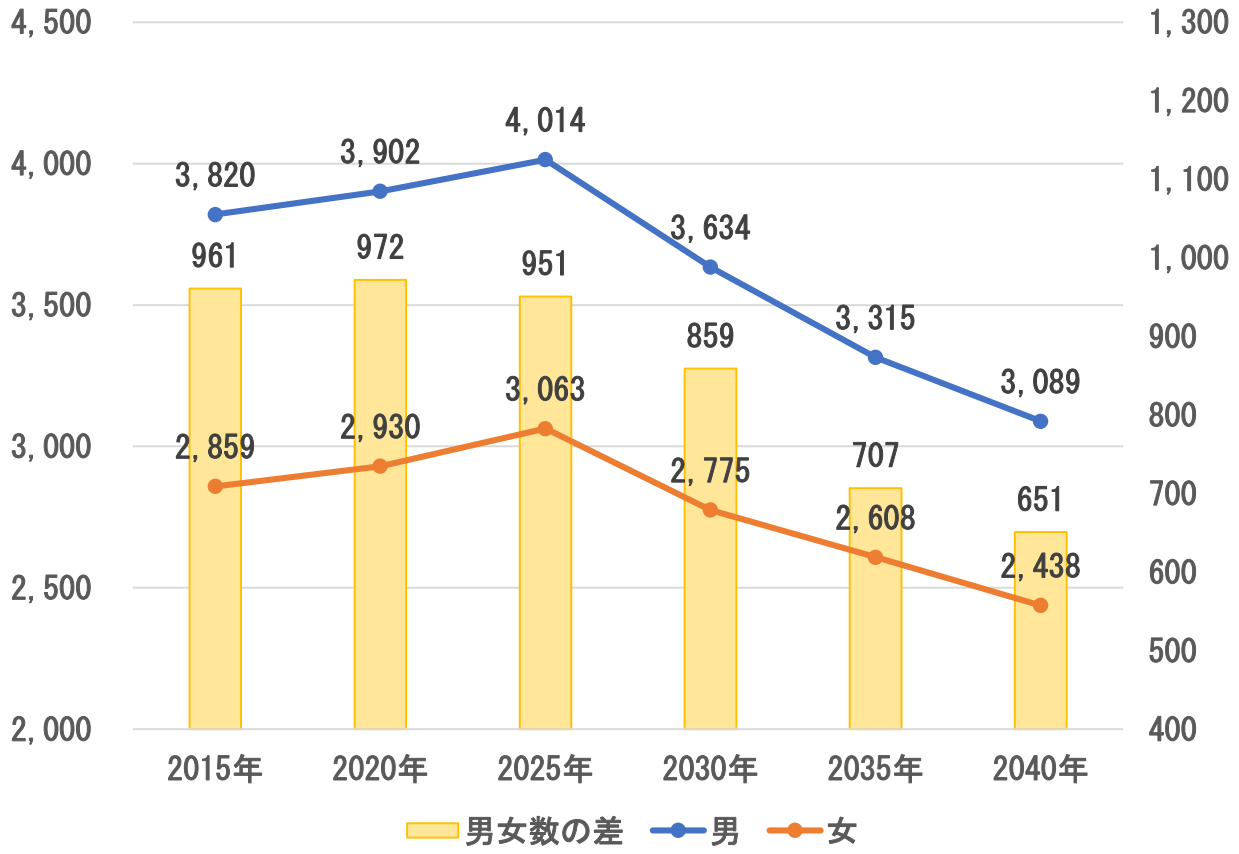
出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データの概要	2025年以降、男女数の差は小さくなるものの、男女ともに減少する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・若者が地域に少なくなり、多様な視点や価値観や役割が地域社会からさらに不足することになり、地域の活性化や創造的な活動に制限が生じるおそれがある。　など

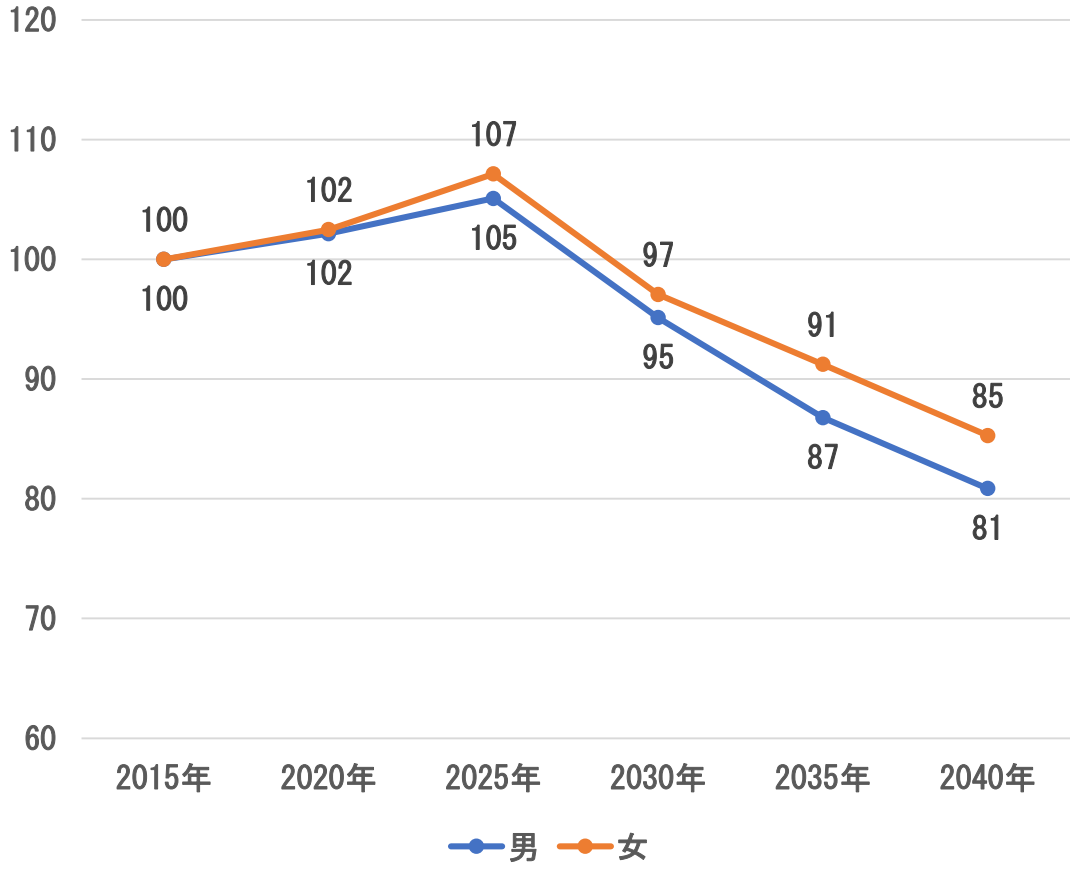
※2025年以降は推計データ

（単位=人）

男女別人口（20～29歳）推移



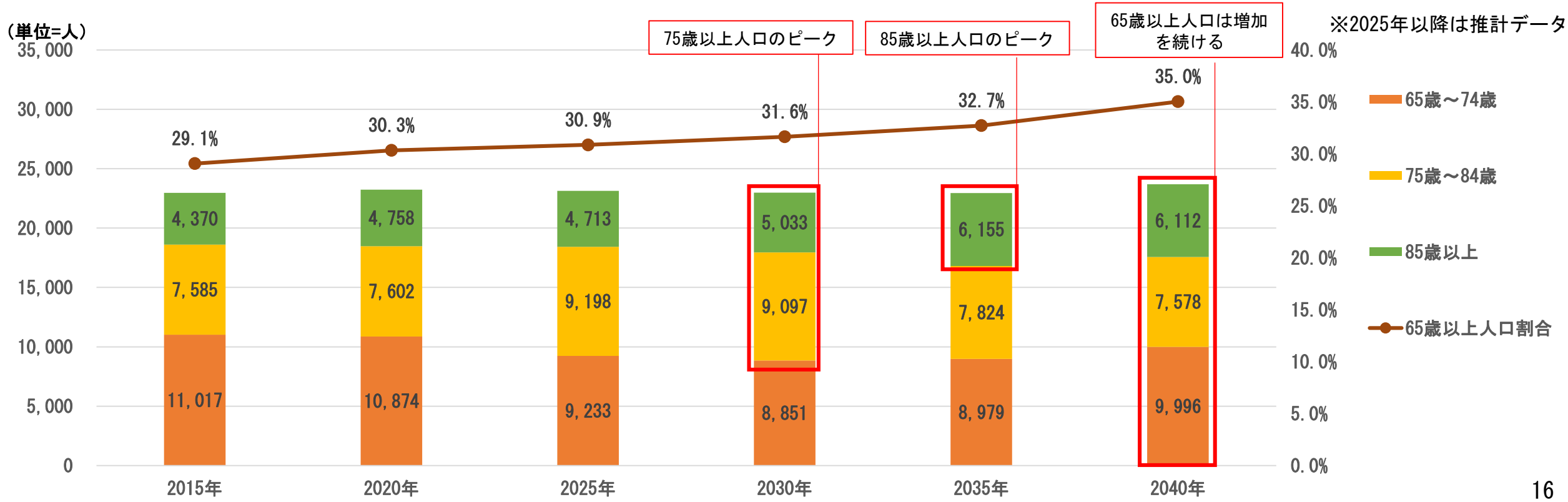
男女別人口指数（20～29歳）推移　※基準年 2015年



1－6 【人口】高齢者数（65歳以上，75歳以上，85歳以上）

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

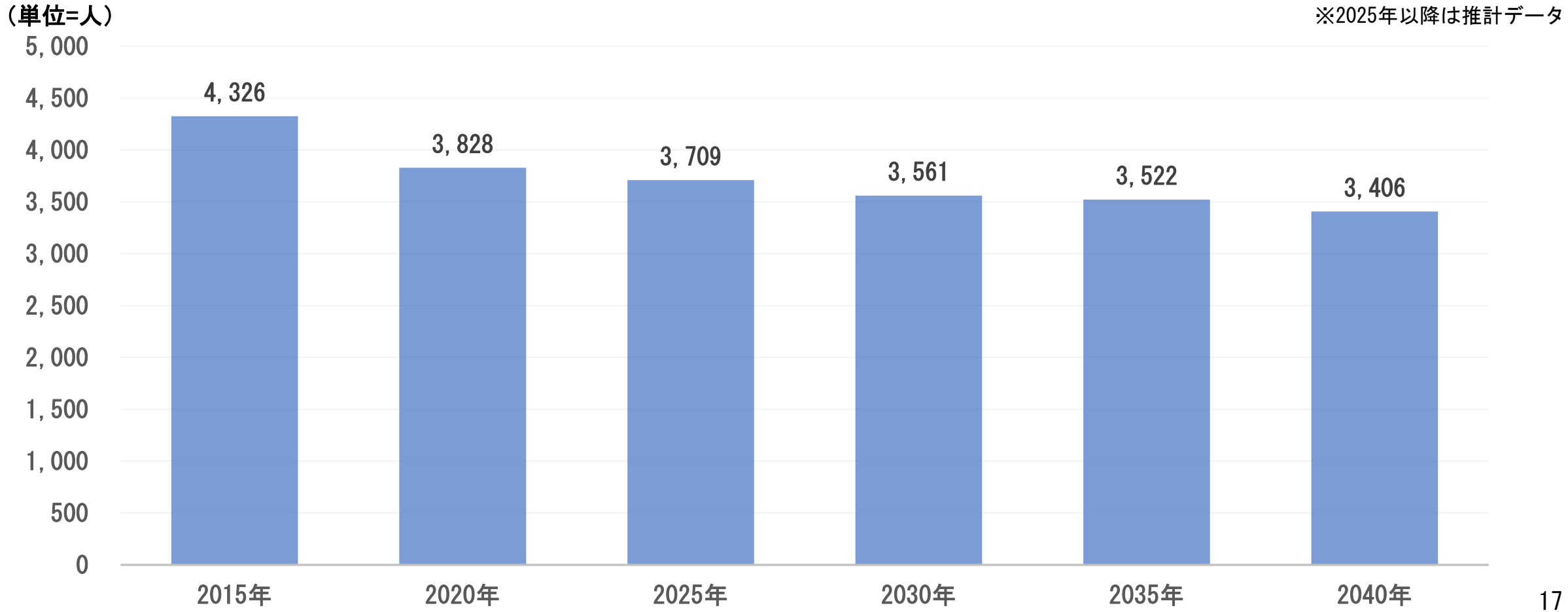
データの概要	75歳以上人口は2030年、85歳以上人口は2035年にピークに達するが、65歳以上人口は2040年まで増加を続ける。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・介護需要が増え、地域の福祉サービスへの負担が増大するおそれがある。 ・運転免許証の返納者が増加し、通院や買い物、人との交流等に困難を伴う人が増加するおそれがある。 ・定年後も働き続ける高齢者が増加し、労働市場の構造が変化する可能性がある。 ・障害のある人の高齢化や重度化、また障害のある人を支える家族の高齢化により、障害福祉サービスの利用が増加するおそれがある。 ・知識や経験が豊富な高齢者が増加し、高齢者による社会活動が活性化する可能性がある。　など



【子育て・教育】0～5歳児数

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データの概要	0～5歳児数は減少する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・こどもの数が減少し、待機児童・入所保留児童が解消される可能性がある。など



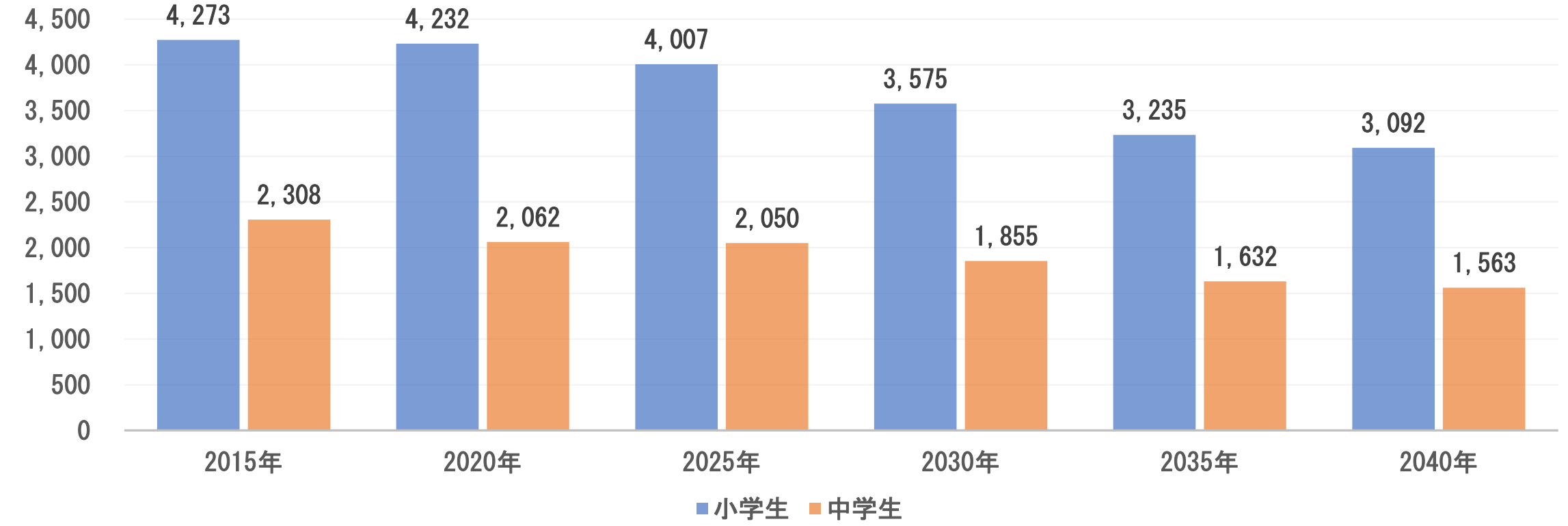
【子育て・教育】小学生数，中学生数

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

データの概要	小学生数、中学生数ともに減少する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・児童生徒数が減ることで、複式学級、複複式学級になるなど学校組織体制が変化するおそれがある。 ・個別最適な学び・協働的な学びがより進む可能性がある。 ・部活動の地域展開を進めても、生徒数が減ることで課外活動の機会が減少するおそれがある。　など

（単位=人）

※2025年以降は推計データ



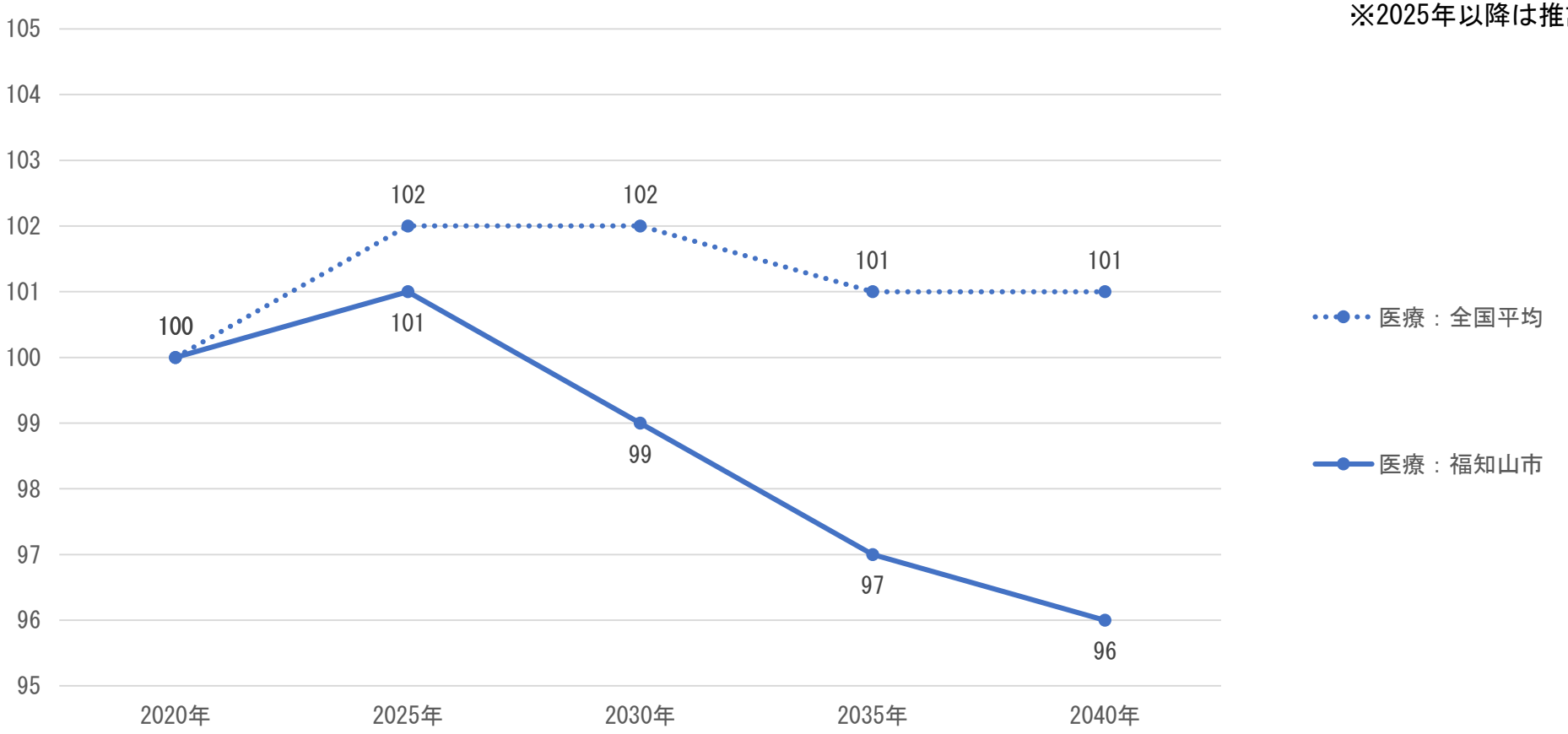
【医療】医療需要

出典：日本医師会　地域医療情報システム

データの概要	医療需要は人口減少に伴い減少する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・医療需要は減少するものの、高齢者数の増加に伴い重症化する高齢者が増加するおそれがある。　など

医療需要予測指数（2020年実績＝100）

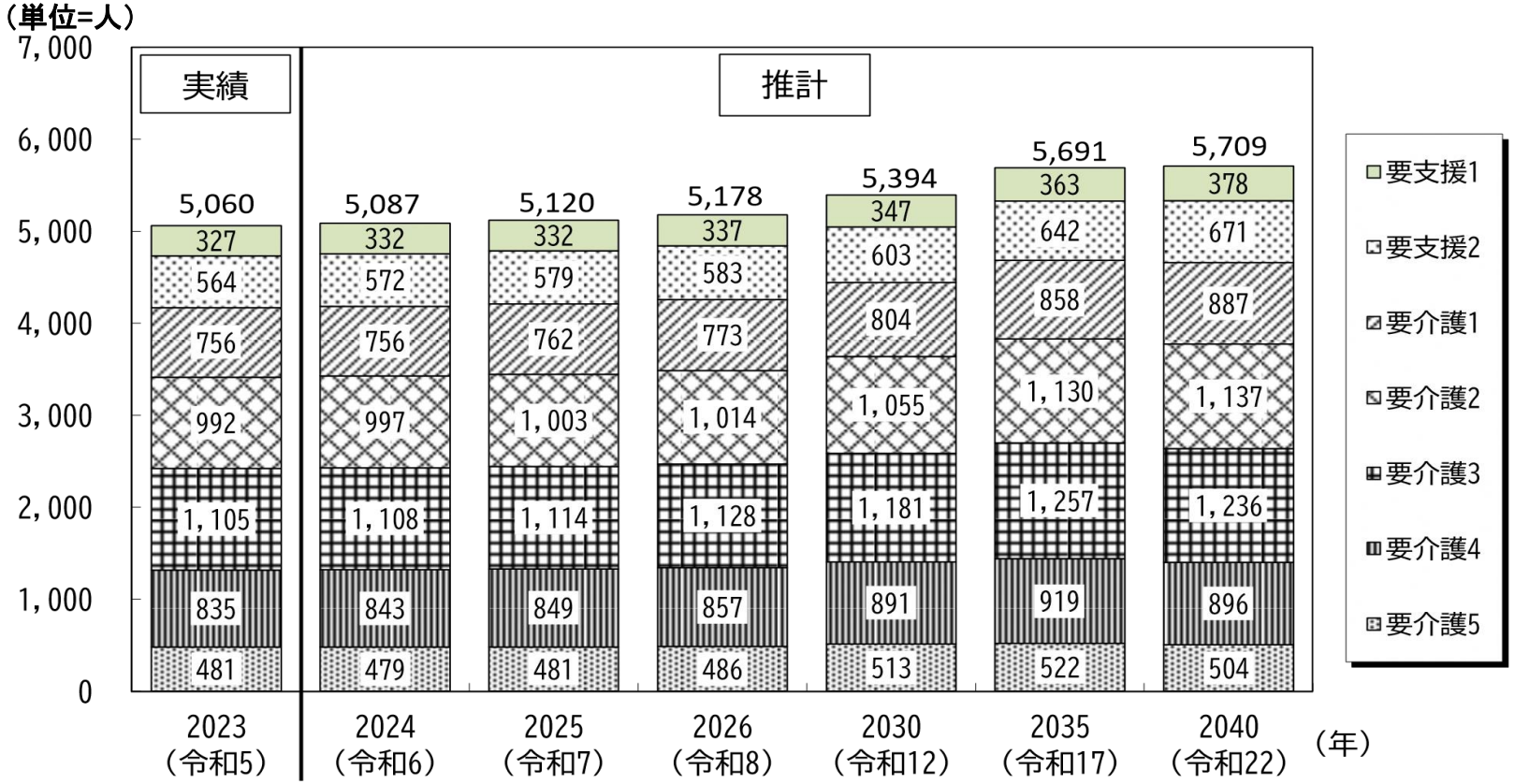
※医療費（歯科を除く）をもとに算出
※2025年以降は推計データ



【介護】要支援・要介護度別人数

出典：厚生労働省　見える化システム

データの概要	いずれの区分でも増加傾向にある。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・高齢者人口が増加する一方で生産年齢人口が減少することで、介護サービスを支える介護人材が今以上に不足するおそれがある。 ・介護予防への関心がさらに高まる可能性がある。 ・介護需要の増加により、家族にかかる負担や、頼れる身寄りがそばにいない場合は、地域にかかる負担が増えるおそれがある。　　など



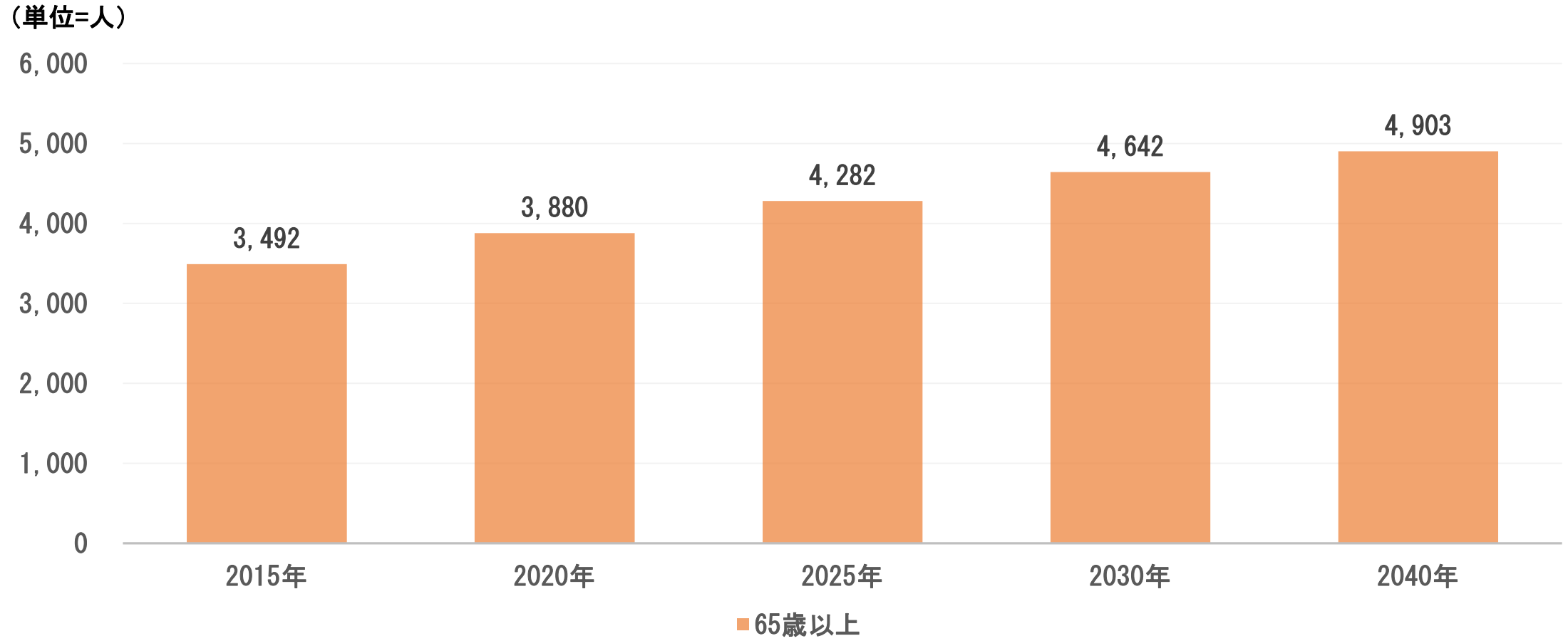
区分	認定の目安
要支援1	基本的に一人で生活できるが家事などの支援が必要。
要支援2	基本的に一人で生活できるが、要支援1と比べ支援を必要とする範囲が広い。
要介護1	基本的に日常生活は自分で送れるものの、要支援2よりも身体能力や思考力の低下がみられ、日常的に介助を必要とする。
要介護2	食事、排泄などは自分でできるものの生活全般で見守りや介助が必要。
要介護3	日常生活にほぼ全面的な介助が必要。
要介護4	自力での移動ができないなど、介助がなければ日常生活を送ることができない。
要介護5	介助なしに日常生活を送ることができない。コミュニケーションをとることが困難で、基本的に寝たきりの状態。

4－2

【介護】認知症の人の数（65歳以上人口）

出典：「認知症の人の将来推計について」（厚生労働省）,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

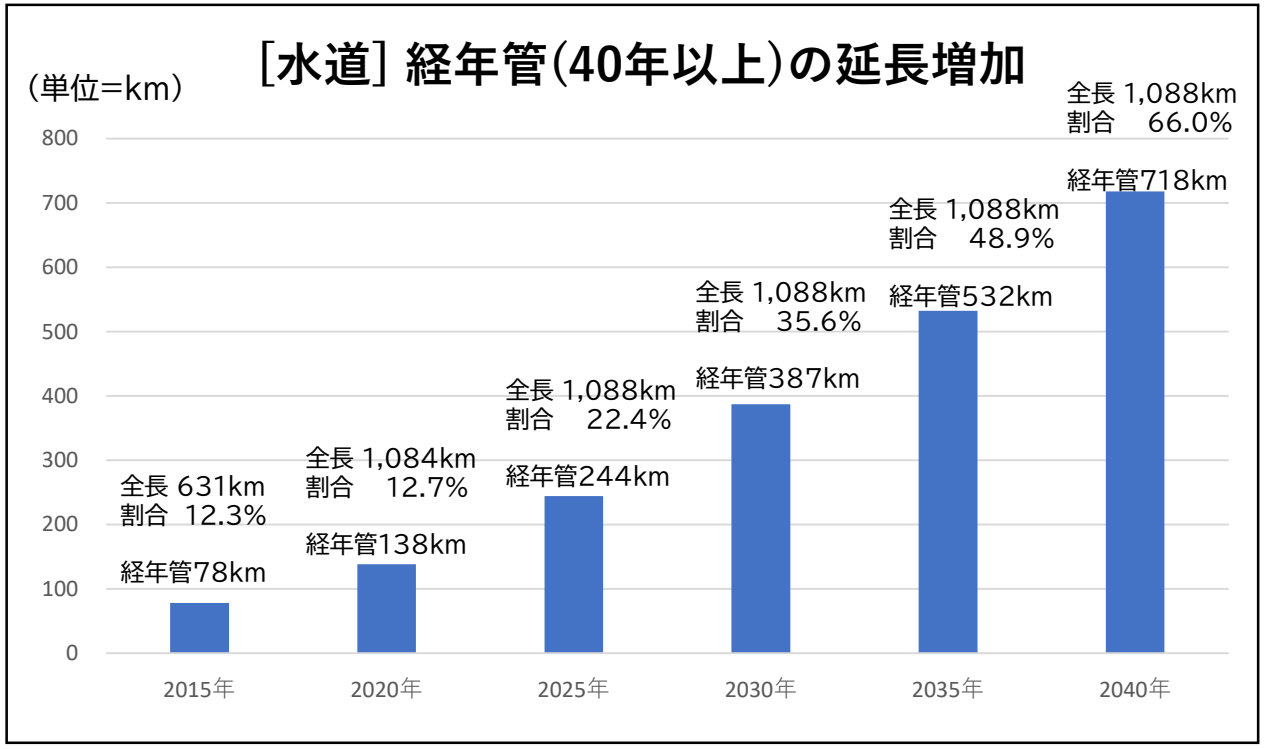
データの概要	高齢者数の増加に伴い認知症の人の数も増加する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・認知症に対応する介護需要が増加するおそれがある。 ・介護需要の増加により、家族にかかる負担や、頼れる身寄りがそばにいない場合は、地域にかかる負担が増えるおそれがある。　など



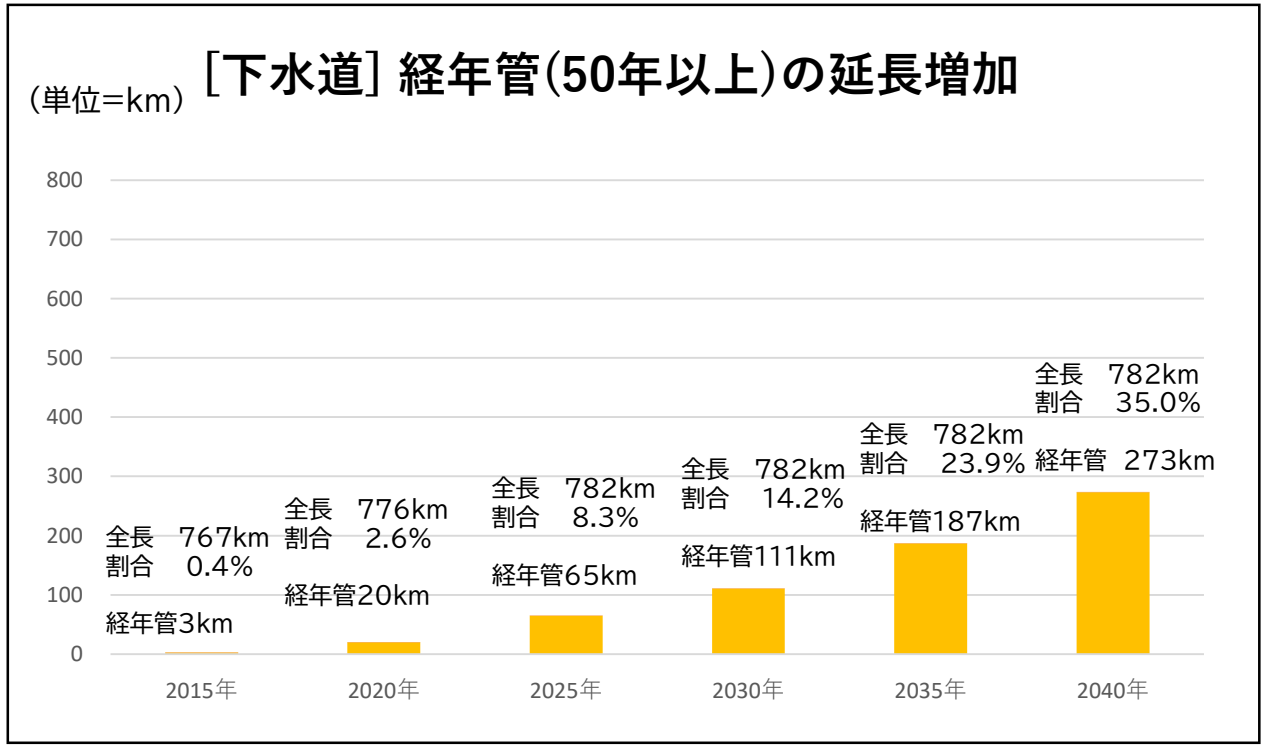
【衛生】上下水道施設の経年化

出典：水道事業統計（施設の概要 管種別延長）、下水道台帳（下水道管渠延長）

データの概要	2040年にかけて上下水道施設(管路)の経年化が進む。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・上下水道施設の更新問題が深刻化するおそれがある。 ・上下水道の事業継続にかかる財政的・人的負担が増加するおそれがある。 ⇒施設更新にたずさわる技術者(職員)、工事業者の確保が必要となる。 など



※水道管の法定耐用年数：40年

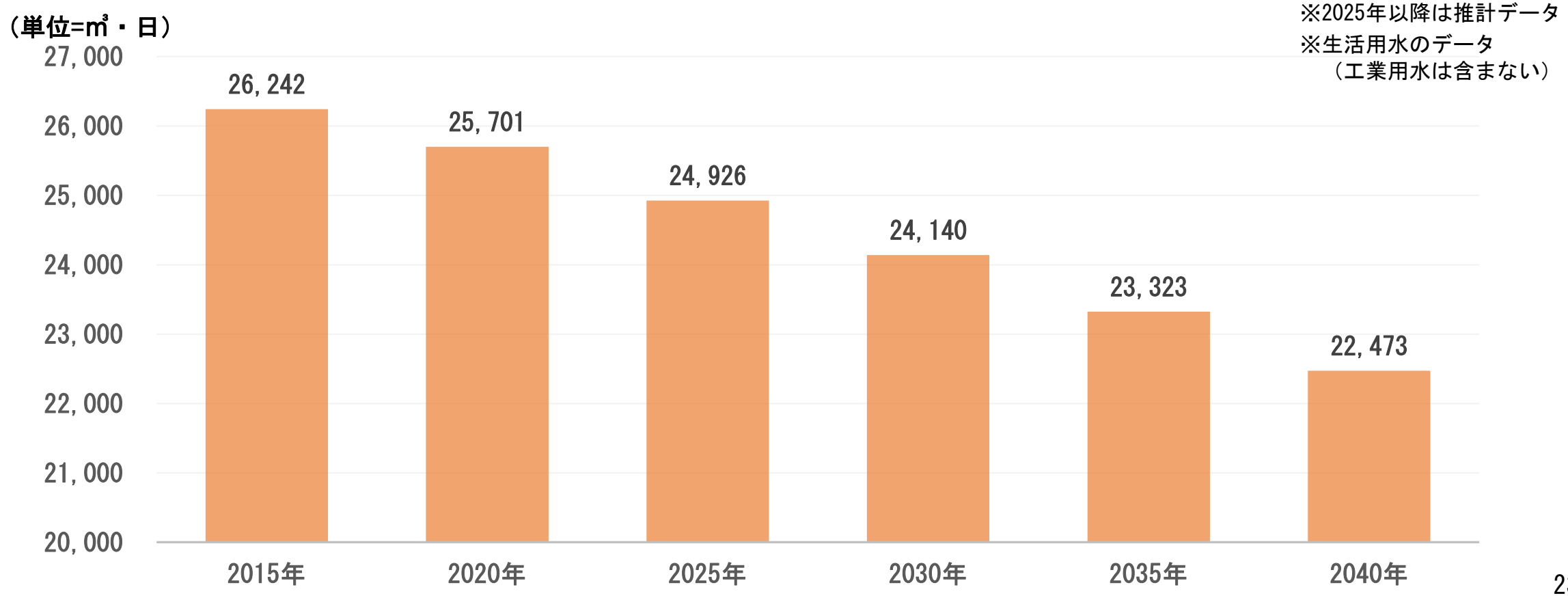


※下水道管の標準耐用年数：50年

【衛生】有収水量

出典：京都府統計書（水道の普及状況），福知山市統計書

データの概要	人口減少によって水道水の需要は減少し、使用される有収水量（水道料金徴収の対象となる水量）は2040年にかけて減少する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・有収水量が減少することで水道料金収入も減少し、水道施設の更新問題が深刻化するおそれがある。 など

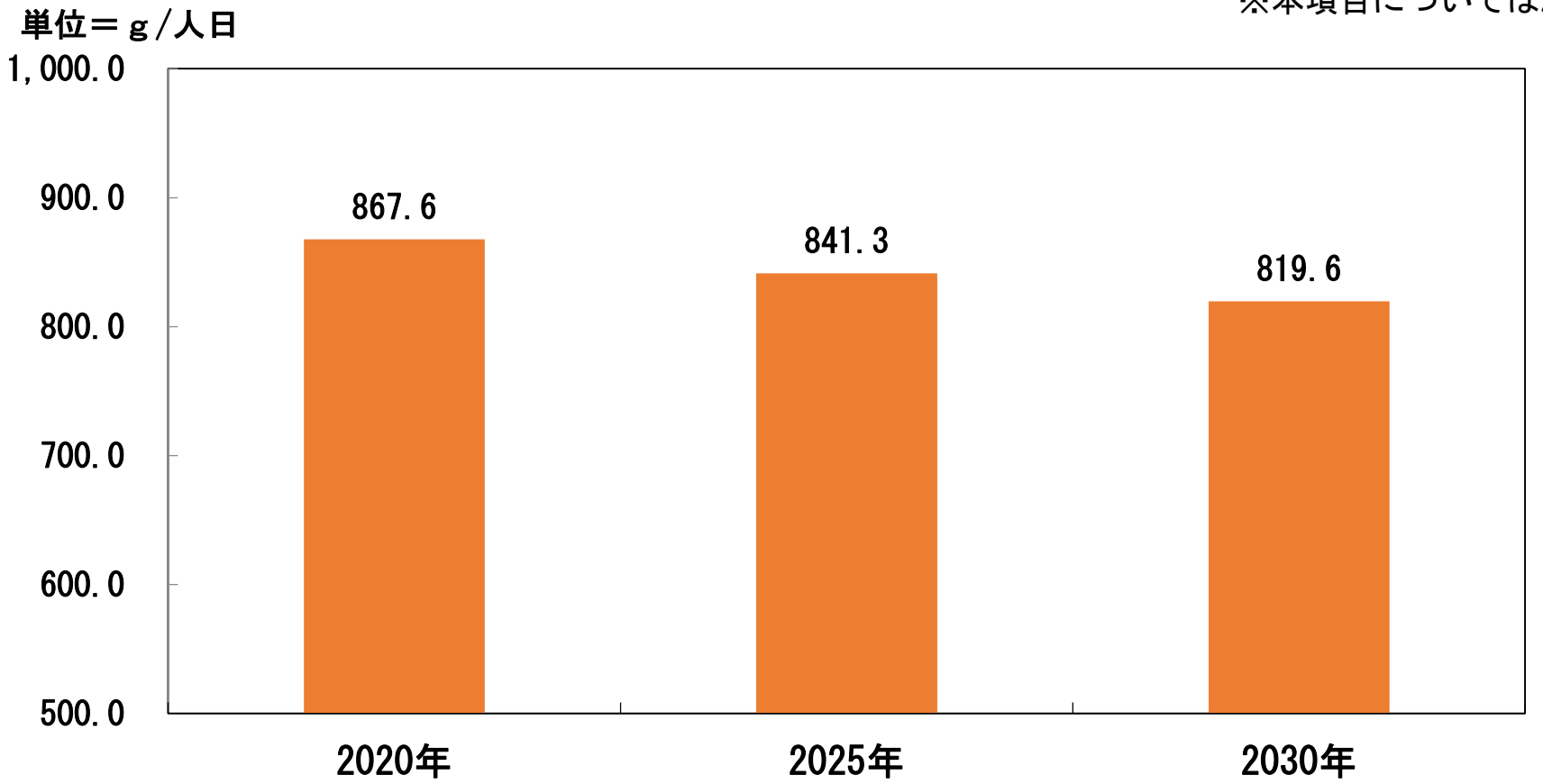


5－3　【衛生】家庭ごみ・事業ごみ（産業廃棄物除く）１人1日当たり排出量

出典：福知山市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画2021）

データの概要	ごみ減量化施策や人口減少により2040年にかけて減少する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・ごみの排出量が減ってごみ処理施設の処理能力を下回ることで、施設の適正稼働ができなくなるおそれがある。 （例えば、焼却施設ではごみの量が減って連続稼働できなくなると、停止・稼働を繰り返すことで燃料効率の悪化や施設に負荷がかかるおそれがある。）　など

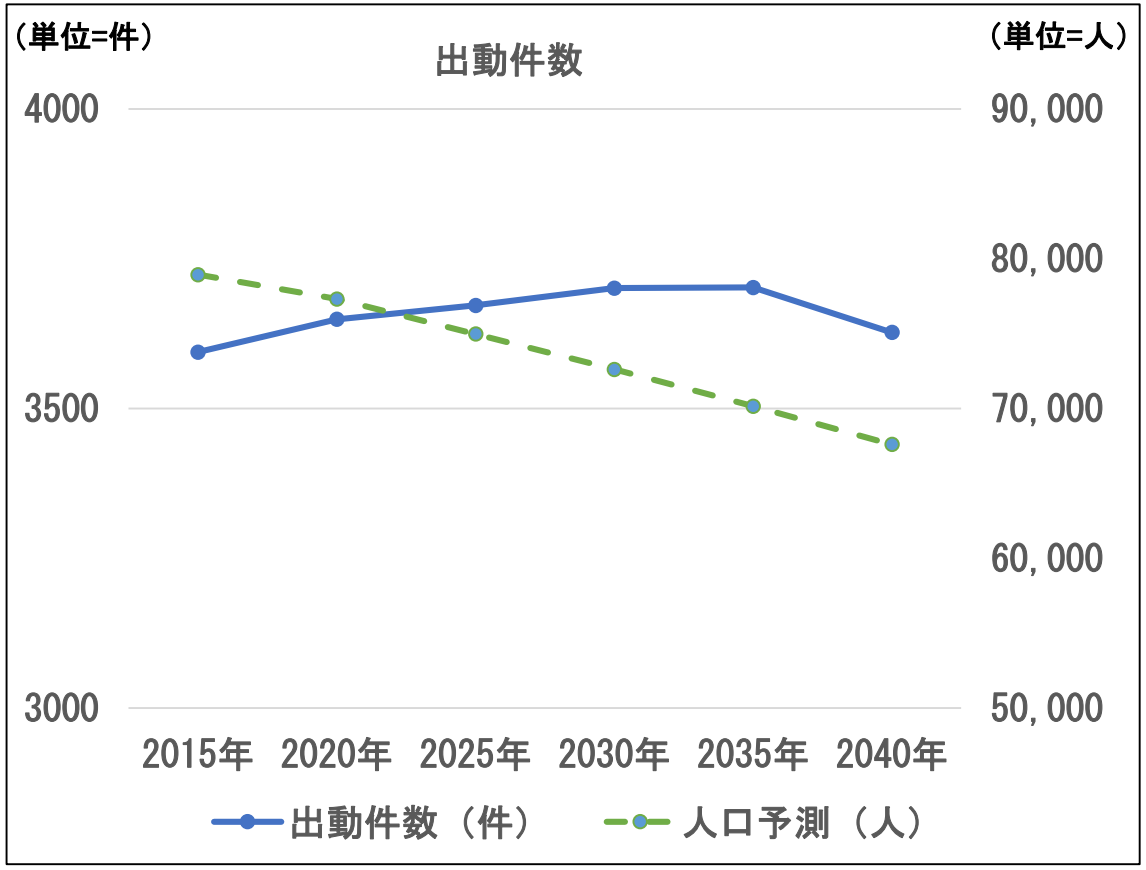
※本項目については2030年までの推計データ

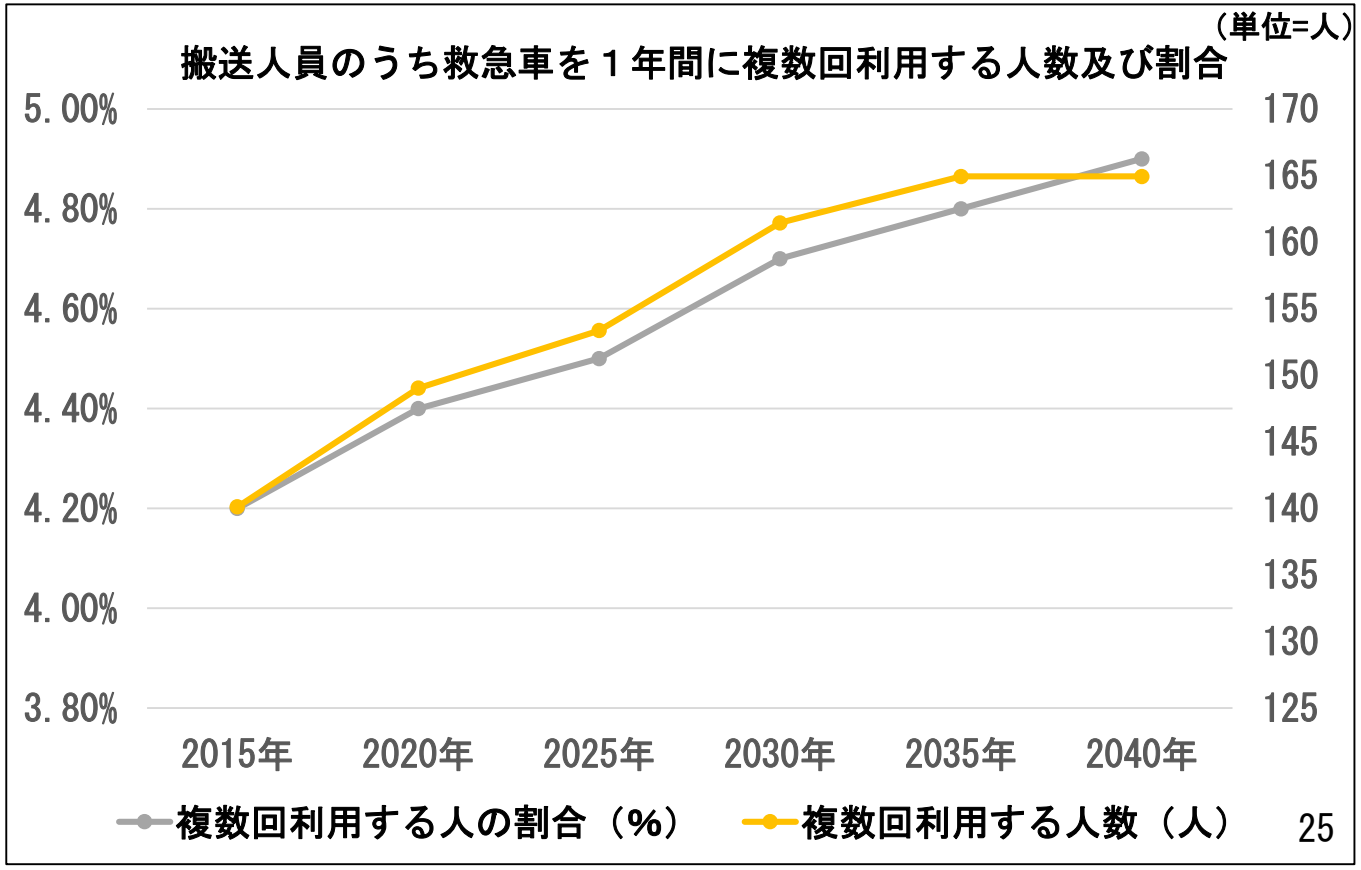


【消防】出動件数と搬送人員

出典：京都府「平成３０年度救急要請に係る検討会報告書」

データの概要	救急出動件数は2035年以降減少する一方で、高齢化に伴って慢性疾患が増加するなどにより、複数回救急車を利用する人の割合が増加する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・出動件数は将来的に減少するが、現状でも高齢化率の高い周辺部への出動に時間を要している中で、高齢化に伴う慢性疾患の増加などにより救急車の稼働時間が増えることで出動が重複し、到着が遅れるケースが生じるおそれがある。　など



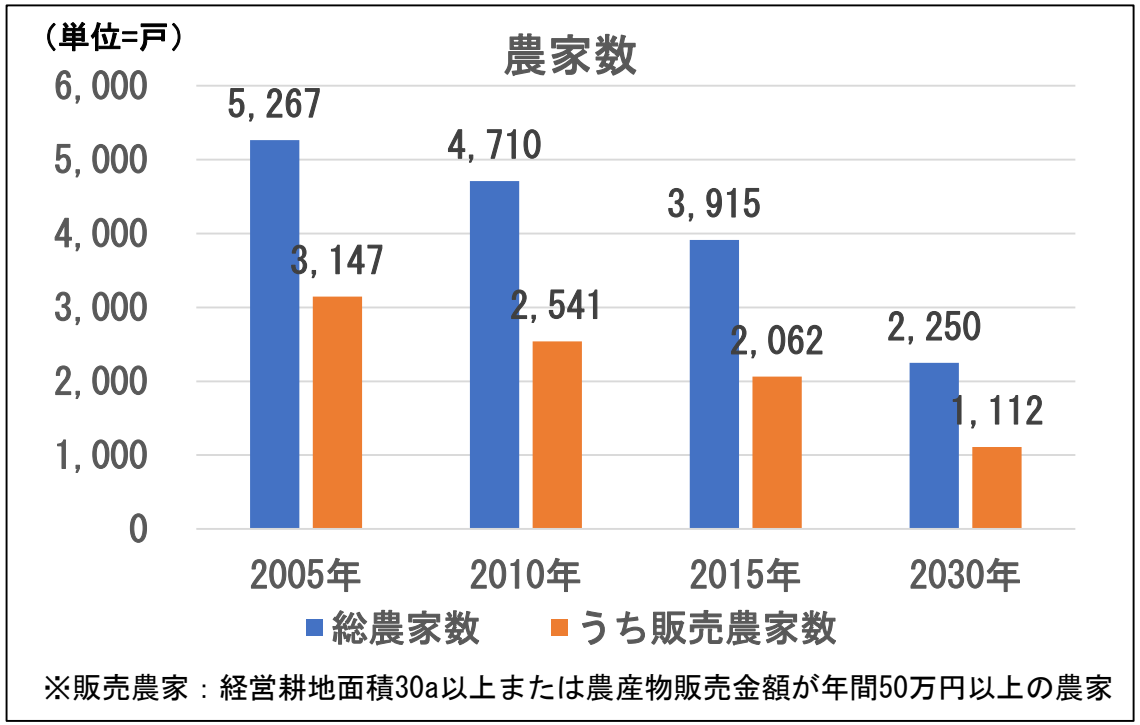


【農林業】農家数・農業従事者数

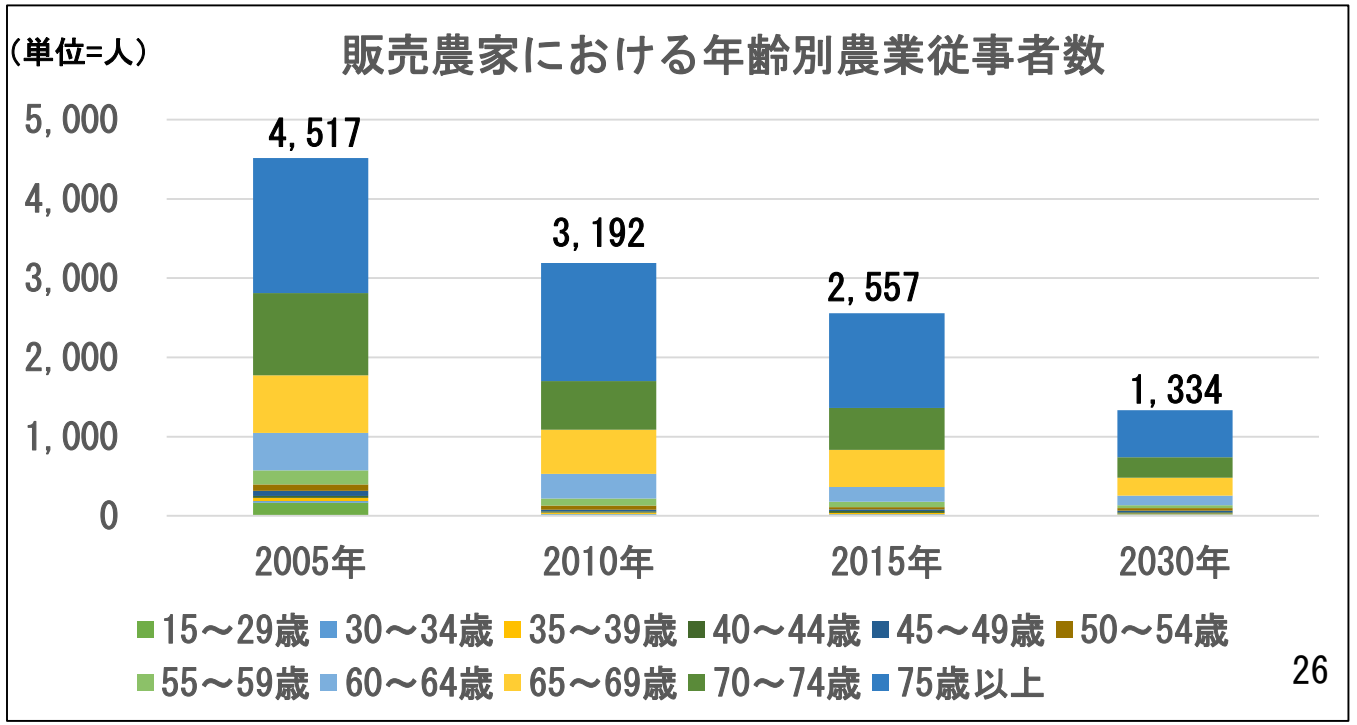
出典：福知山市農業振興地域整備計画書

データの概要	総農家数の減少が止まらず、2030年には2015年の43%減の2,250戸まで減少すると予想される。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・農業者が減少することで、農産物の生産量が減少するおそれがある。 ・農地を耕作・管理する農業者が減り続け、荒廃する農地、農道、水路の増加が懸念される。また、営農を継続する農業者の負担が増大するおそれがある。 ・荒れた農地が増えることで野生鳥獣の住処となり、野生鳥獣の被害が拡大するおそれがある。　など

※本項目については2030年までの推計データ



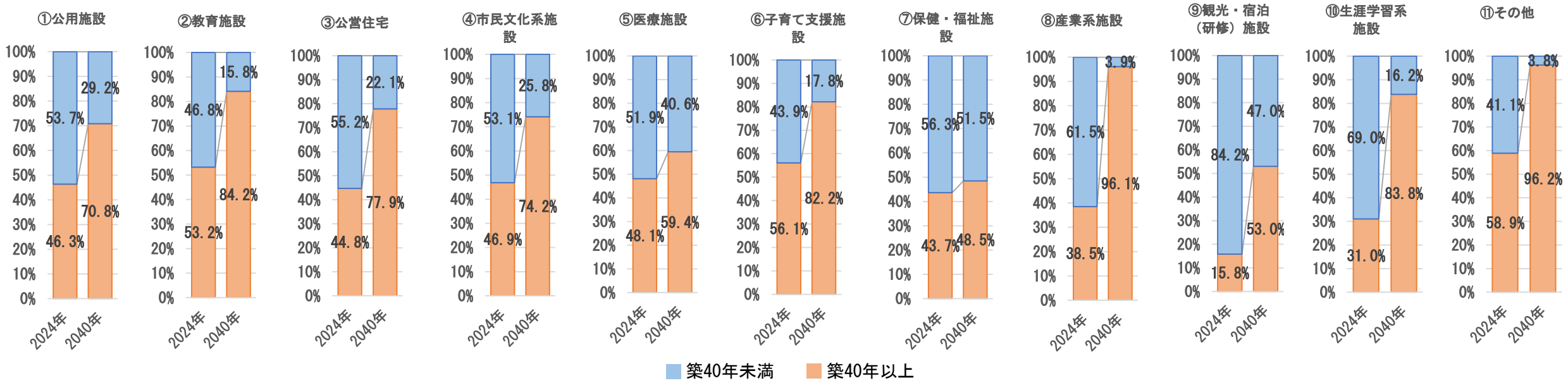
※販売農家：経営耕地面積30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家



8－1【 施設・インフラ】市有公共施設(ハコモノ)の築年数区分別の延床面積割合

出典：福知山市独自集計(2024年3月31日時点)

データの概要	多くの分類において築年数が40年（長寿命化改修周期）を超える施設が大半を占めている。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・大型施設の多い公用施設（庁舎等）や教育施設（小中学校）では、築40年超の割合が大きく更新時期が到来するものが多数を占めており、今後さらに進んでいく。 ・施設や設備の老朽化により、修繕の件数が増加し市の財政的負担が増大する。また、利用者満足度が低下するおそれがある。　など



施設用途	用途小分類		
①公用施設	庁舎、消防施設	⑦保健・福祉施設	保健福祉センター、老人憩いの家、その他の社会福祉施設
②教育施設	小学校、中学校及び小中一貫校、学校給食センター	⑧産業系施設	産業振興施設、農業施設（共同作業所）
③公営住宅	市営住宅、その他の住宅	⑨観光・宿泊（研修）施設	観光施設、宿泊（研修）施設
④市民文化系施設	勤労青少年ホーム、市民会館・地域公民館、人権ふれあいセンター、集会施設	⑩生涯学習系施設	博物館、図書館、体育施設（体育館）、体育施設（運動場）、体育施設（プール）、その他の生涯学習施設
⑤医療施設	診療施設		
⑥子育て支援施設	幼稚園、こども園、保育園、児童施設、放課後児童クラブ教室など	⑪その他	職員公舎、その他の施設

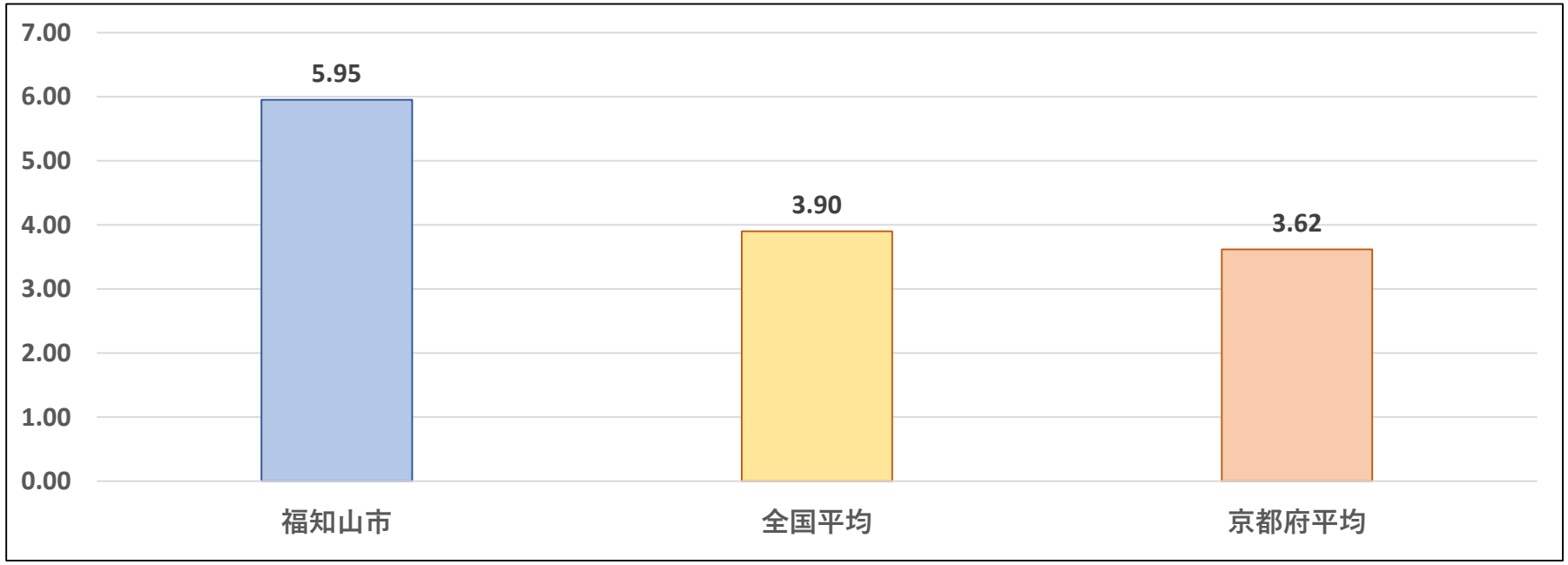
（参考）【 施設・インフラ】人口1人当たり市有公共施設(ハコモノ)延床面積（全国平均・京都府平均比較）

出典：独自集計資料

データの概要	人口１人当たりの公共施設延床面積は、全国平均・京都府平均と比較して1.5倍以上多い。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・人口減少により1人あたりの延床面積が増加し、市民1人あたりの負担が増加する。 ・人口の減少により稼働率が低い施設が発生するおそれがある。 ・各施設で用途廃止が進み、空き公共施設が発生するおそれがある。　など

2023年度末時点

（単位：㎡/人）



独自集計参考資料

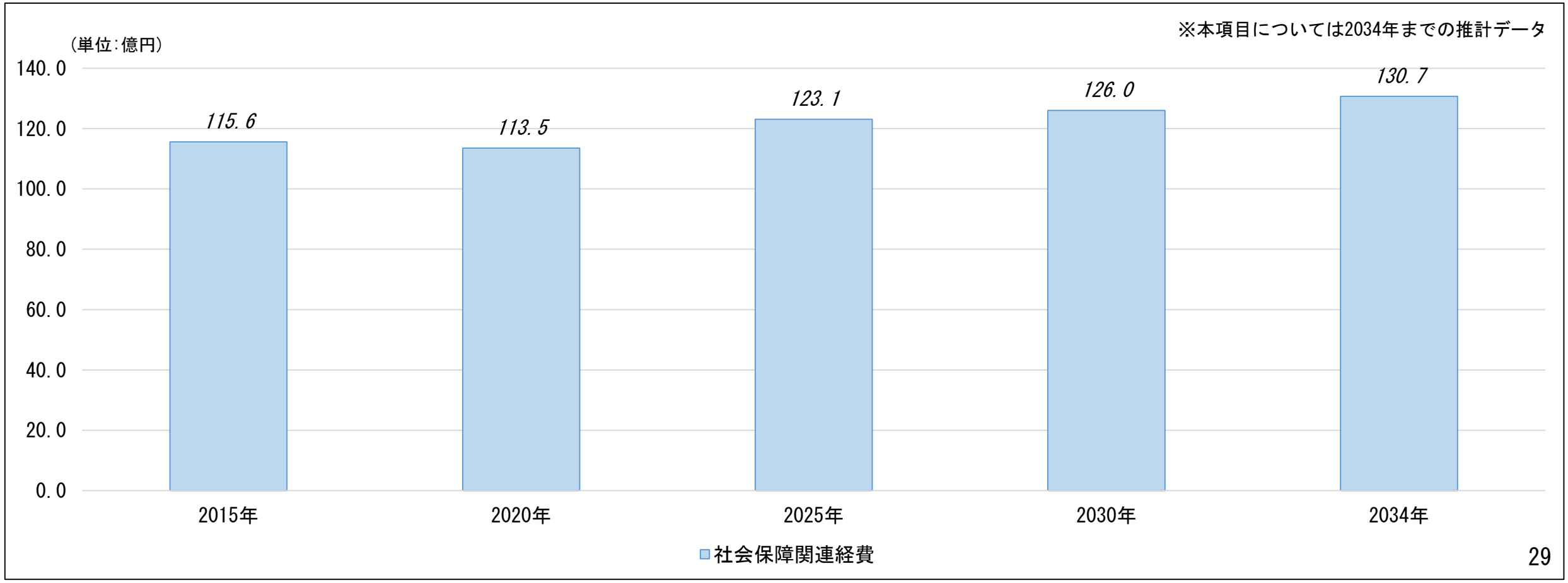
「市町村公共施設状況調 建物 令和５年度末現在高」、「公共施設状況調 経年比較表（H18-R4)経年比較表 市町村分2022」、「住民基本台帳人口(令和6年1月1日現在)」

9－1

【市の財政】社会保障関連経費（福祉に使うお金）

出典：福知山市「中期財政見通し」

データの概要	2025年以降は人口減少は進むが、高齢化が進んで人口に占める高齢者の割合が増加することにより徐々に増加傾向で推移する。
既に顕在化している事象又は想定される変化・課題（例）	・社会保障に必要な経費割合は増加していくが、社会保障経費は必要不可欠な経費であり、削減できないため、他の行政サービスが低下するおそれがある。　など



（参考）将来人口（京都府、京都府北部7市町）

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
※京都府北部7市町：福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町

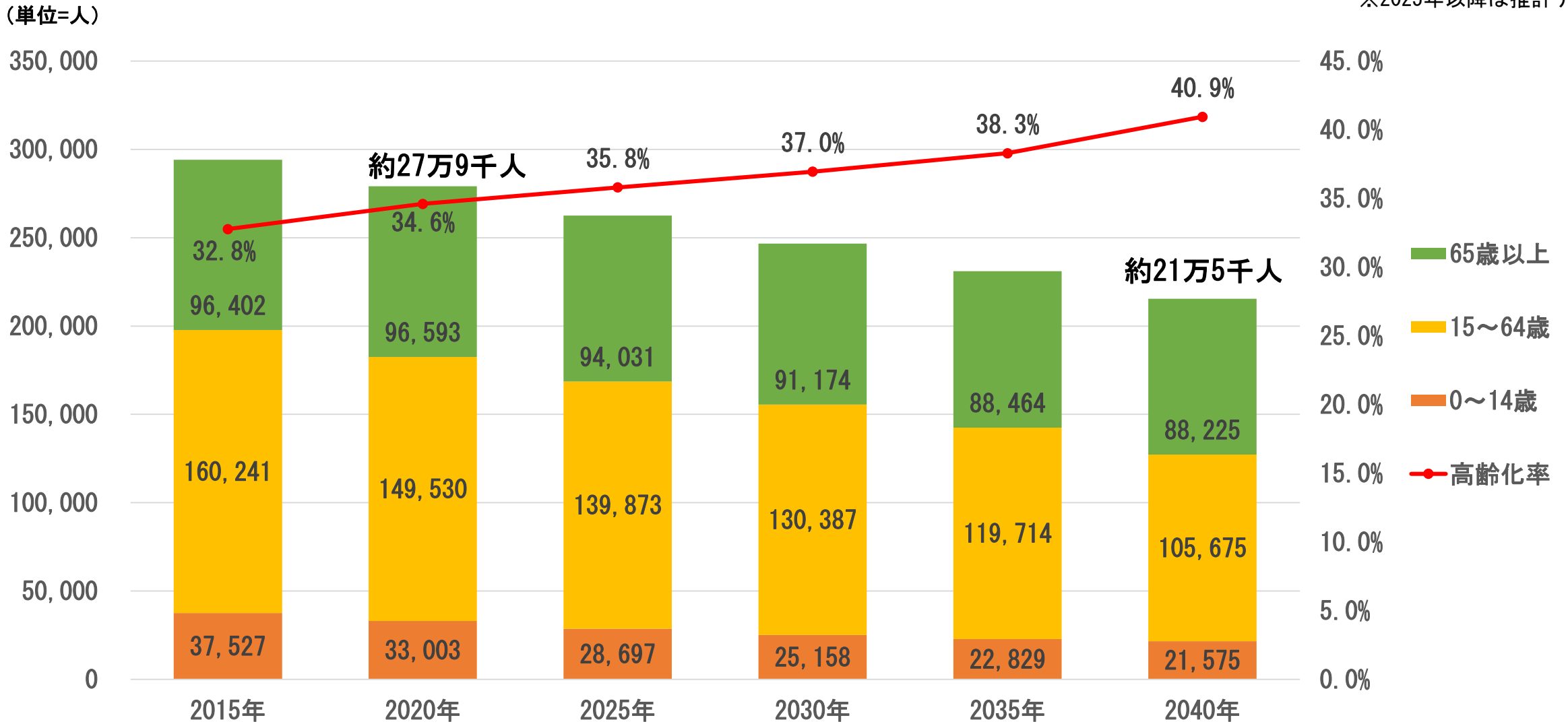
総人口および指数（2015年＝100とした場合）　※2025年以降は推計データ

	総人口（単位：人）						指数	
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2030年	2040年
京都府	2,610,353	2,578,087	2,518,390	2,445,192	2,361,161	2,267,021	93.7	86.8
福知山市	78,935	77,306	74,977	72,613	70,154	67,598	92.0	85.6
舞鶴市	83,990	80,336	75,871	71,362	66,865	62,426	85.0	74.3
綾部市	33,821	31,846	29,790	27,868	26,003	24,158	82.4	71.4
宮津市	18,426	16,758	15,124	13,629	12,232	10,882	74.0	59.1
京丹後市	55,054	50,860	46,813	42,996	39,243	35,568	78.1	64.6
伊根町	2,110	1,928	1,748	1,579	1,409	1,254	74.8	59.4
与謝野町	21,834	20,092	18,278	16,672	15,101	13,589	76.4	62.2
7市町合計	294,170	279,126	262,601	246,719	231,007	215,475	83.9	73.2

（参考）人口推移（京都府北部7市町）

出典：総務省「国勢調査」,国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
※京都府北部7市町：福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町

※2025年以降は推計データ



資料２－３

プレスリリース

2025 年 5 月 29 日
京都府福知山市

市民が「幸せを生きる」ことができる未来のために
福知山市の将来を無作為抽出の市民約 100 人が話し合う
「福知山市 2040 年市民会議」を始動
○福知山市「地域の未来予測」を公開
○特設サイト「2040 くらしのスケッチ」でも市民からの意見を募集

京都府福知山市は、人口減少が進行する中で、データをもとに将来の地域課題を市民と共有し、課題解決の方向性について意見を交わす**「福知山市 2040 年市民会議」**を始動します。会議には、無作為抽出により市民約 100 人が参加。6 月 22 日(日)を皮切りに、全 5 回の開催を予定しています。

議論に先立ち、福知山市における各種将来推計データをとりまとめた**「地域の未来予測」**を作成しました。市民会議で共有するとともに、市 HP でも公開します。

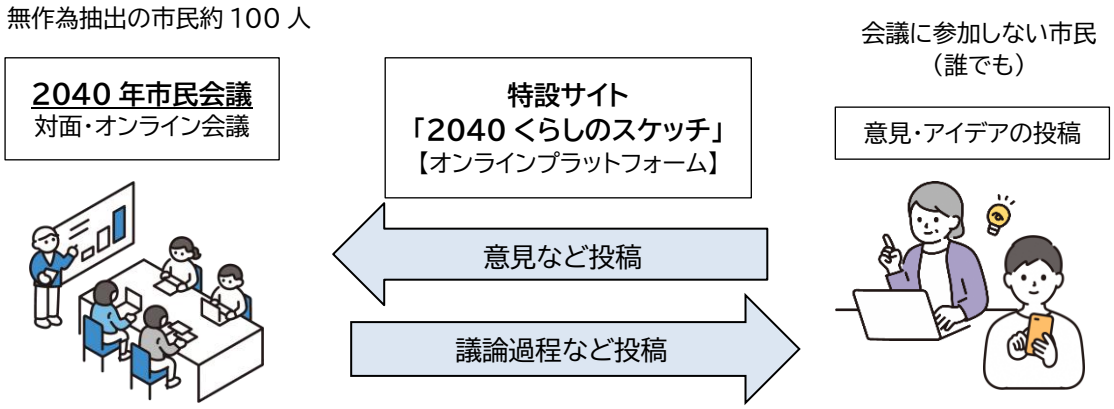
また、会議に参加しない市民も自由に意見交換に参加できるよう、特設サイト「2040 くらしのスケッチ」を開設。会議の様子や論点を発信しながら、誰もがアイデアやコメントを投稿できるオンラインプラットフォームとして運用していきます。市全体で未来を見据え、市の市民憲章にある誰もが「幸せを生きる」ことができるまちづくりのために、次の一歩を描く取組みです。

福知山市 2040 年市民会議

人口減少が進む中にあっても、市民が希望を持って住み続けられる、持続可能で「幸せを生きる」まちづくりを進めることを目的とし、市民に参画いただき、2040 年に生じ得る本市の変化、課題を想定し対応するための方向性について「地域の未来予測」をもとに議論を行います。

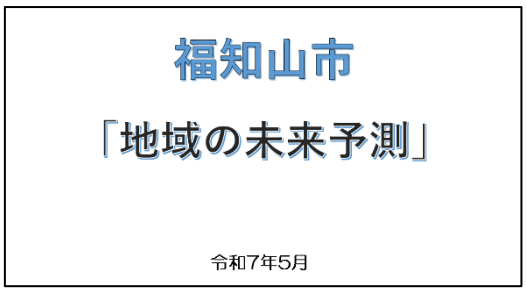
また、会議での議論内容については随時周知することとし、オンラインプラットフォーム等も活用しながら、広く市民からの意見を募集します。

「2040 年市民会議」は、市内在住の18歳以上の市民から無作為抽出した 5，000 人に参加を案内。そのなかで、「参加できる」と回答した約 100 人の市民が参加します。
※誰でも傍聴は可能です。



地域の未来予測

人口減少や少子高齢化が深刻化する中で、65 歳以上人口がピークを迎え様々な社会問題が表面化するとされている 2040 年を見据え、「地域の未来予測」を作成しました。本市において将来起こり得る課題を予測し、それらの課題を市民と共有し適切に対応していくため、人口や子育て・教育、医療・介護、市の財政などの様々な分野における本市の 2040 年までの客観的なデータにもとづいた資料です。



福知山市「地域の未来予測」
URL：(https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/73433.html)※後日公開します。

第 1 回会議

日時　2025 年 6 月 22 日(日) 13:30～16:30
場所　福知山公立大学 4 号館 4 階 4401 講義室(京都府福知山市字堀 3370)

内容(予定)
・「地域の未来予測」を福知山市から情報共有
・福知山市の将来課題について、市民による意見交換　ほか

オンラインプラットフォーム概要

市民会議と連動し、特設サイトのオンラインプラットフォーム「2040 くらしのスケッチ」も開設します。

特設サイト【オンラインプラットフォーム】:「2040 くらしのスケッチ」
https://fukuchiyama-city.liqlid.jp/

「2040 くらしのスケッチ」
QR コード

現在募集中の問いかけ:

今の福知山市で「ここが惜しい」と感じるもの・ことはなんですか？
(https://fukuchiyama-city.liqlid.jp/space2040meeting/idealist-q1)

今から 15 年後、どんな福知山に暮らしていたいですか？
(https://fukuchiyama-city.liqlid.jp/space2040meeting/idealist-q2)

市民の皆さまの声は、市民会議にフィードバックします。

【報道関係者からのお問合せ】
福知山市役所　経営戦略課　担当:芦田、大槻
TEL:0773-24-7030　E-mail:keiei@city.fukuchiyama.lg.jp

資料３－１

令　和　７　年　度
福 知 山 市　施 策 レ ビ ュ ー
【 当　日　資　料 】

日　時：令和７年８月２日（土）　９時００分～１８時１０分
　　８月３日（日）　９時３０分～１６時１０分
場　所：市民交流プラザふくちやま　３階　市民交流スペース

ご来場のみなさまへ

１ 施策レビューは自由に傍聴できます

（１）いずれの施策についても自由に傍聴できます。
（２）一般傍聴席での録画･録音、撮影は原則として自由ですが、施策レビューの議論及び傍聴の支障とならない範囲で行ってください。
また、その使用に関しては、方法･状況等によりトラブルの原因となることもありますので、「使用者の責任」においてご使用ください。

２ 傍聴時のマナーとしてお守りいただきたいこと

（１）施策レビュー実施中は、お静かに傍聴願います。施策レビューの議論は、コーディネーター、施策改善推進委員、施策改善市民パートナー、市説明者がそれぞれの役割に従って進めます。
傍聴者の皆さまに発言を求めることはありません。
（２）発言や拍手等の方法で意見を表明するなどの行為、横断幕やプラカード等で意思表示するなどの行為は慎んでください。特に進行の妨げとなるような場合には退室していただくことがあります。
（３）携帯電話はマナーモードに切り替えるか、電源をお切りください。
（４）会場への入退室は、施策レビューの妨げにならないようお静かにお願いします。

３ その他（注意事項）

（１）施策レビューのスケジュールは、進行状況により前後することがあります。
（２）傍聴人の方は会場内での飲食はできません。また、会場内を含め敷地内は全面禁煙です。
（３）会議運営等に伴う市の職員の指示に従っていただきますようお願いします。

皆さまのご協力をお願いいたします。

福　知　山　市

■お帰りの際に、施策レビューに関するアンケートにご協力ください。■

目　　次

１　施策レビューの概要 ・・・ １

目的／基本的な考え方

２　施策レビューの実施体制 ・・・ ２

施策レビューにおける役割／施策改善推進委員名簿

３　会場案内図及び会場レイアウト ・・・ ４

４　プログラムとタイムスケジュール ・・・ ５

５　進行手順と改善シートの記載方法 ・・・ ６

６　「まちづくり構想　福知山」の長期ビジョンと政策の体系 ・・・ ９

７　資料の種類と見方 ・・・１３

施策体系シート

【補足資料】事務事業評価シート・各施策の説明資料

1　施策レビューの概要

１－１　施策レビューとは

「まちづくり構想　福知山」で掲げる施策について、所管部署が毎年度、取組内容や成果指標の達成状況、改善の方向性等の自己点検・確認を行い、政策目標の実現に向けた取組や施策を構成する事業について不断の見直しを行うこと。

１－２　施策レビューの目的

（１）政策目標の実現に向けた進捗状況や課題解決の取組等について、外部の意見を得ながら多角的に検討を行い、政策目標の実現に向けた取組をより実効性あるものに改善するとともに、各施策を構成する事業についても一体的に不断の見直しを図る。

（２）市民に広く公開された場で、施策改善推進委員と客観的な指標に基づき政策目標の実現に向けた取組が効率的・効果的に実施されているか議論を行うことで、行政の透明性を高め、市民への説明責任を果たすとともに、市民と行政の協働のまちづくりやコミュニケーションの促進を図るための共通認識を醸成する場とする。

（３）施策レビューでの議論を通じ、市職員の政策形成能力の向上を図る。

１－３　基本的な考え方

（１）施策レビューでは、政策目標の実現に向け施策上解決すべき課題を捉え、体系だてて課題解決の方向性を設定しているか、構成する事業が適切に位置づけられているかを議論します。

（２）改善すべき点や見直しの方向性について、市が本来果たすべき役割を改めて確認するとともに必要な改革に取り組みます。

（３）施策レビューでは、政策目標の実現に向け、各施策を構成する事務事業の役割、効果についても議論し、各事務事業が効率的・効果的なものとなるよう不断の見直しに繋げていきます。

（４）施策レビューにおける議論の結果は、市の最終判断となるものではありません。施策レビューでの議論、委員等からの意見等を厳粛に受け止め、市の方針決定するための重要な参考とするものです。

【用語の説明】

基本政策	６５歳以上の高齢者人口がピークを迎え、社会経済環境が大きく変化すると見られている２０４０年に、市民生活が置かれているリスクを想定し、市民が幸せを生きるための将来像と、それを実現するための今後５年間の中核的な方針
政策目標	各基本政策を実現するために掲げる、分野ごとに達成すべき政策目標
施策	政策目標を達成するための方策
施策の成果指標	政策目標の達成に向けた各施策の取組の進捗度合いを測るための指標

※各用語の構成等具体的なことについては、９～１２ページをご覧ください。

2　施策レビューの実施体制

２－１　施策レビューにおける役割

■コーディネーター

施策レビューの進行役を務め、施策改善推進委員と説明者の間で有意義な議論が円滑に進むように促します。同時に、議論を整理しながら、必要な質問・指摘・解決手段の提起や取りまとめを行います。

■施策改善推進委員

説明者から施策及び施策に紐づく事業の説明を受け、質問を投げかけながら課題の指摘や課題解決の手段について提案を行う等、議論を行います。

■施策改善市民パートナー

施策改善推進委員と説明者との議論を聴き、施策及び施策に紐づく事業が効果的に実施されているかを確認するとともに、施策レビューで感じた意見・感想・改善提案等をシートに記入します。

■説明者

市の施策担当部課職員が、施策や事業の説明及び施策改善推進委員との議論を行います。

■事務局

市長公室経営戦略課の職員が、施策レビューの冒頭で概要について説明を行います。

２－２　施策改善推進委員名簿

■8月2日（土）

役割	氏名	所属等
コーディネーター	調整中	
施策改善推進委員	井上　直樹	・福知山市行政改革推進委員 ・福知山公立大学 地域経営学部長
施策改善推進委員	浦尾　たか子	・福知山市行政改革推進委員 ・京南倉庫株式会社 常務取締役
施策改善推進委員	細見　祐介	・福知山市行政改革推進委員 ・公認会計士 税理
施策改善推進委員	豊島　永子	・自治基本条例推進委員会委員 ・有限会社 山城屋茶舗 取締役

■8月3日（日）

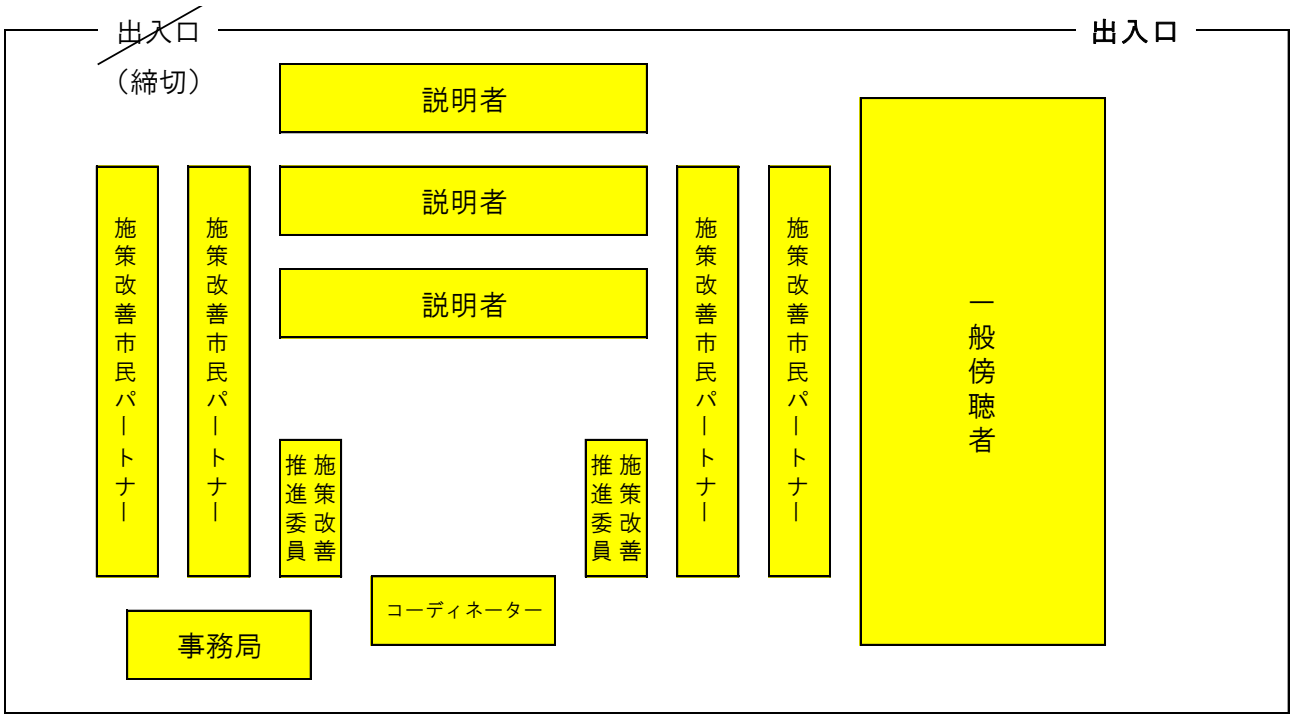
役割	氏名	所属等
コーディネーター	調整中	
施策改善推進委員	井上　拓	・福知山市行政改革推進委員 ・フューチャー株式会社　ＩＴコンサルタント
施策改善推進委員	岡　恵	・福知山市行政改革推進委員 ・特定侵害訴訟代理業務付記弁理士 行政書士
施策改善推進委員	村尾　愼哉	・福知山市行政改革推進委員 ・公認会計士 税理士
施策改善推進委員	水口　一也	・自治基本条例推進委員会委員 ・毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト 代表

3　会場案内図及び会場レイアウト

3－1　会場案内図

3－2　会場レイアウト

市民交流スペース



4　プログラムとタイムスケジュール

■8月2日（土）

9:00～ 9:20　開会式（視聴覚室）
9:30～18:10　施策レビュー（以下のとおり）

基本政策４：市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

No	予定時間	施策担当部	施策名
1	9:30～9:35	事務局	概要説明
2	9:35～11:50	教育委員会	【子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実】 4-1-1　地域総ぐるみの教育の場づくりの推進
休憩			
3	13:00～13:05	事務局	概要説明
4	13:05～15:20	教育委員会	【子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実】 4-1-2　子どもの学びと成長の土台づくり
休憩			
5	15:40～15:45	事務局	概要説明
6	15:45～18:00	教育委員会	【子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実】 4-1-3　豊かな人間性を育む教育の実践

■8月3日（日）

9:30～15:50　施策レビュー（以下のとおり）
15:40～16:10　閉会式

基本政策４：市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち
基本政策７：市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち

No	予定時間	施策担当部	施策名
1	9:30～9:35	事務局	概要説明
2	9:35～11:50	市民生活部	【学びを深められる地域資源の継承・発展】 4-3-1　文化財の保護・活用と地域文化の継承
休憩			
3	13:00～13:05	事務局	概要説明
4	13:05～15:20	産業部 市長公室 こども家庭部	【働く意欲を支える支援制度の充実】 7-1-1　スキル取得やキャリア形成の機会の創出

5　進行手順と改善シートの記載方法

5－1　進行手順

次の手順により、１施策あたり１４０分(休憩１０分含む)で議論を深め、参画者の意見をとりまとめます。

1　概要説明	
5分	事務局職員（経営戦略課）が、施策レビューの概要について説明を行います。
2　課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）の説明	
15分	市の担当職員が、課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）について、事務事業評価シート等により、課題認識、課題解決に向けた方向性や取組状況などについて説明します。
3　質疑応答及び議論	
35分	施策改善推進委員が、質問や確認を行いながら、課題認識、課題解決に向けた方向性や取組状況などについて議論を深めます。
10分	休憩
4　政策目標の実現に向けた課題及び課題解決に向けた取組状況について説明	
10分	市の担当職員が、政策目標の実現に向けて掲げる施策について、施策体系シートに沿って課題認識、課題解決に向けた取組の方向性や取組状況について説明します。
5　質疑応答及び議論	
20分	施策改善推進委員が、政策目標の実現に向けての課題認識や取組の方向性について質問を行います。質疑を通して政策目標の実現に向けてどうすべきかについて議論を深めます。
6　疑問点解消・意見の発表	
20分	施策改善市民パートナーは、ここまでの説明や議論を聞く中で感じた疑問点や意見を発表し、市の担当職員が疑問点の解消や意見に対する回答を行います。
7　施策改善推進委員の意見・提案（施策改善市民パートナー改善シート記入）	
15分	施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、政策目標の実現に向け「①課題が明確になっているか」、「②取組の方向性は合っているか」、「③課題解決に向けて取り組む事業として貢献できているか」の３点から施策の有効性や意見について改善シートに記載します。 また、コーディネーターが施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーからの改善意見をとりまとめます。
8　意見とりまとめ結果発表・まとめ	
10分	コーディネーターが意見とりまとめ結果を発表します。

５－２　　役割別進行手順

１　概要説明（冒頭５分）
２　施策レビュー（１４０分(休憩１０分含む)）

	コーディネーター	施策改善推進委員	事務局・説明者	施策改善市民パートナー
概要説明 （5 分）			事務局が当日資料により説明	
課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）の説明 （15分） 質疑応答・議論 （35分） ①取組の方向性を踏まえた事業の実施目的 ②具体的にどのようなことを行っているのか ③事業実施によりどのような効果があるのか	課題解決に向けて取り組む事業について、コーディネーターと施策改善推進委員から、市説明項目①、②、③に関して質疑及び議論		説明者が事務事業評価シート等により説明 質疑への回答 議論	説明や議論を聞きながら、必要な部分は各自でメモ
休憩 （10分）	休憩			
政策目標の実現に向けた課題及び課題解決に向けた取組状況について説明 （10分） 質疑応答・議論 （20分） ①現状把握 ②課題設定 ③取組の方向性・改善する内容	政策目標の実現に向けての課題認識や取組の方向性について、コーディネーターと施策改善推進委員から、市説明項目①、②、③に関して質疑及び議論		説明者が施策体系シートにより説明 質疑への回答 議論	説明や議論を聞きながらメモ 感想、意見、意見区分等、自身の考えを整理
疑問点の解消・意見の発表 （20分）	市説明や議論の中で施策改善市民パートーナーが感じた疑問点の解消		疑問点への回答	市説明や質疑等の中での疑問点を発表（挙手）
施策改善推進委員の意見・提案（施策改善市民パートナー改善シート記入） （15分）	施策改善推進委員の意見、改善提案のとりまとめ	意見の発表 （挙手） 改善提案	施策改善市民パートナーからシートを回収	改善シートに意見等記載 記載したシートを事務局職員へ提出
意見とりまとめ結果発表・まとめ （10分）	施策改善市民パートナーの意見発表 議論のまとめ		施策改善市民パートナーのシートの意見を集計	

５－３　改善シートの記載方法

施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、「Ⅰ　政策目標の実現に向けた施策の取組について」と「Ⅱ　施策の有効性について」の２つの観点で意見整理を行います。

「政策目標の実現に向けた施策の取組について」では、３つの項目により取組内容や取組状況を確認し、施策の有効性について判断します。

Ⅰ　政策目標の実現に向けた施策の取組について

項目	※率直なご意見として該当すると思われる項目番号（１～３のいずれか）に ○ をつけてください。		
1　課題が明確になっているか	そう思う (明確になっている)	どちらともいえない	そう思わない (明確になっていない)
2　取組の方向性は合っているか	そう思う (方向性は合っている)	どちらともいえない	そう思わない (方向性がバラバラ)
3　課題解決に向けて取り組む事業として貢献できているか	そう思う （貢献している）	どちらともいえない	そう思わない （貢献していない）

・施策レビューは、政策目標の実現に向けて各施策を着実に推進し、かつ、その効果を高めていくことを主眼に置いています。
・施策改善推進委員及び施策改善市民パートナーは、議論を通じ、課題の捉え方・取組の方向性・事業実施による貢献度について、それぞれの項目で意見区分を判断し記載します。

Ⅱ　施策の有効性について

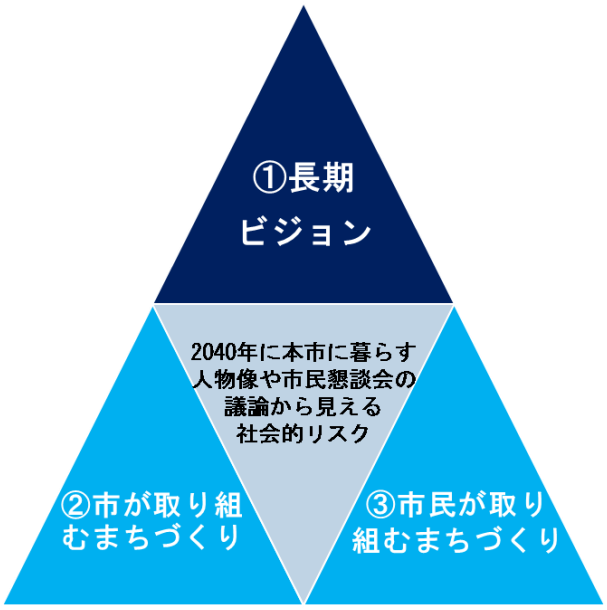
項　目	意 見 区 分	
政策目標の実現に向けた施策の有効性	有効である	有効ではない

・この項目は、政策目標を達成する手段として、市の掲げる施策の有効性を整理いただくものです。
「Ⅰ　政策目標の実現に向けた施策の取組について」での意見内容を踏まえて、施策が十分に機能していると思われる場合は「有効である」を、施策の取組は必要ではあるが、有効性は不十分であると思われたら「有効ではない」を選択いただきます。

○最終とりまとめは後日、事務局（市経営戦略課）で公表します。
○施策レビューでいただいたご意見は、そのまま市の最終判断となるものではありません。
施策レビューでの議論やいただいたご意見を踏まえ、施策を所管する市担当部課が改善を検討し、今後の取組に活かしていきます。

6 「まちづくり構想　福知山」の長期ビジョンと政策の体系

1「まちづくり構想 福知山」の全体構成



「まちづくり構想　福知山」は、
「市民と共に考え、市民と共に作り、市民と共に実行する」計画として目標とすべき

①長期ビジョン（２０４０年の将来像）

を定め、それを実現するために

②市が取り組むまちづくり（施策の体系）

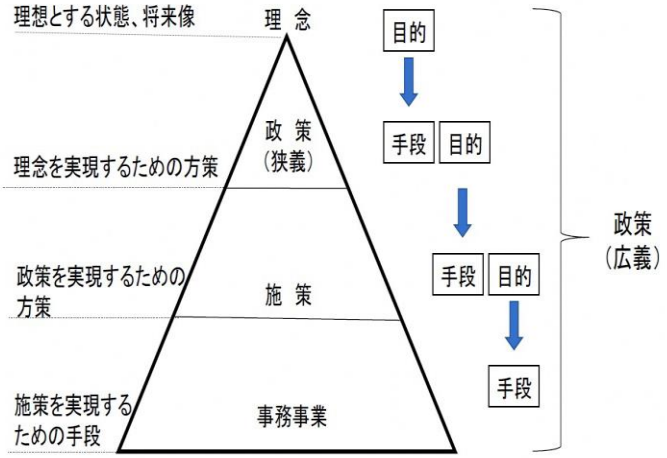
と

③市民が取り組むまちづくり
（市民懇談会の２１の提案）

の両輪で取り組むこととしています。

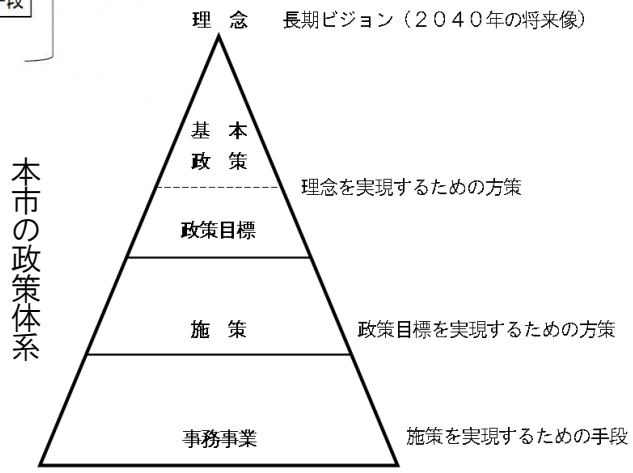
2 政策体系(政策の構造)

「市が取り組むまちづくり」を構成している政策体系については、総務省が体系化しているものにならっています。



○政策は階層性を持つ。

- 「目的－手段（目的）－手段（目的）－…」という関係が連鎖的につながる体系（より高次の目的を達成するための手段、さらにその手段の実現を目的として、これを達成するための手段…といった関係が階層的に連鎖）
- この「目的－手段」の連鎖からなる体系を「政策体系(政策の構造）」という。



3 市民が幸せを生きるための将来像（長期ビジョン）

市民が幸せを生きるための将来像	内容
ほどよい距離感で、さりげない支え合いに幸福を感じるまち （「ありがとう！つながりと感謝の因子」より）	これからの時代は、地域での支え合いがいっそう大切となります。例えば、身体が不自由で普段は支えられる側の人でも、困っている人のためにできることがきっとあるはず。誰もが、自分のできる範囲で、お互いに支え合う。そんな日々の営みに幸せを感じることができるまちをめざします。
多様性や個性を尊重し、自分なりに歩めるなかに幸福を見いだすまち （「ありのままに！独立とマイペースの因子」より）	年齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、それぞれの人がそれぞれの思いで、夢を叶えようとする。それを周りの人が認め、応援する。誰ひとりとして まったく同じ人のいないこの世の中で、一人ひとりの違いを認め合い、支え合う。誰もが、自分なりの歩み方で幸せを見いだすことができるまちをめざします。
いつでも前向きに、お互いを高め合うことで幸福を呼びこむまち （「何とかなる！前向きと楽観の因子」より）	いつ、どのようなタイミングでも、好奇心をもって人生を楽しむ。学び、スポーツ、仕事。生涯を通して、様々な機会を通して学び、成長しようとする。自分にあった趣味を見つけたり、いくつになっても生涯現役を貫いたりする。そんな活動的な人生をおくり、他者との交流を通じてお互いを高め合い、幸せを呼び込むまちをめざします。
チャレンジ精神にあふれ、努力と創意工夫を重んじて幸福をつなげるまち （「やってみよう！自己実現と成長の因子」より）	歴史が物語るように偉大な一歩は新たなチャレンジから始まります。激しく変化していく時代の中だからこそ、新たな試みを揶揄したり卑下したりすることなく、まずはやってみる、ダメなところは改善する、ゴールをめざして努力と創意工夫で果敢に挑んでいく。そんなチャレンジ精神あふれた人の行動が伝播し、まちづくりやビジネスの可能性が広がり、幸せがつながっていくまちをめざします。

3－1 幸福の4因子

将来像を描く際には、会社経営やコミュニティづくりで用いられる「幸福学」の「幸福の４因子」の考え方を取り入れています。

○「ありがとう！つながりと感謝の因子」

社会の中で生きている人は、周りの人とのつながりのなかで幸せを感じる。多様なつながりや、利他性（他人のために貢献したい気持ち）が強い人ほど幸せになる。

○「ありのままに！独立とマイペースの因子」

自分に集中し、いわば「本当の自分らしさ」を探して磨くこと、自分の好きなことや得意なこと、ワクワクすることを突き詰めていくと、自分でも知らなかった「本当の自分らしさ」にたどり着ける。

○「何とかなる！前向きと楽観の因子」

「ポジティブに考える」こと、常に「なんとかなる」と考えていれば、必要以上に挑戦を恐れることなく、行動に踏み出しやすくなる。

○「やってみよう！自己実現と成長の因子」

夢や目標に向かって「やってみよう」と主体的に努力を続けられる人は、何も行動を起こさない人よりも幸せになる。

４ 見えてきた市民生活の社会的なリスク(キーワード)

掛け合わせる

地域活動のあり方	自治会役員の担い手不足や超高齢化　など
自然環境・地域資源の保全・活用	市の文化活動の核となる取組や拠点の不足　など
子どもの育み	身近な場において限りのある障害のある子どもへの支援　など
自分らしい学び	家庭の経済状況に左右される子どもの学び　など
健康・生きがい	様々なストレスが蔓延する中での身体的、精神的、社会的な健康の維持・増進の難しさ　など
最期まで生き生きとした暮らし	高齢者のみ世帯における老々介護　など
魅力的な働き方	起業の機会や時代に合った多様な働き方の選択肢の少なさ　など
地域産業の発展	稼ぐ力の弱い経営をしている農林水産業者　など

※詳細は、冊子「まちづくり構想　福知山」１３～１４ページをご覧ください。

５ 基本政策

「３　市民が幸せを生きるための将来像（長期ビジョン)」に「４　見えてきた市民生活の社会的なリスク」を掛け合わせて、概ね８つの政策の方向として取りまとめました。その８つの政策の推進のための社会的基盤（いわゆるハード）を整備するという１つの政策を合わせて、以下の９つの基本政策を打ち出しました。

市民一人ひとりが、

① まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち
② 自然や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち
③ お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち
④ いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち
⑤ その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち
⑥ 最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち
⑦ 生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち
⑧ 時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

上記①～⑧の推進にあたり、

⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

（基本政策4）

市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

政策目標4−1　子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実

- 施策①　地域総ぐるみの教育の場づくりの推進
- 施策②　子どもの学びと成長の土台づくり
- 施策③　豊かな人間性を育む教育の実践

指標（政策目標）	現況	目標
中学生の質問紙調査において「挑戦心、達成感、自己有用感等」の回答が肯定的な生徒の割合	挑戦心　70.9% 達成感　94.2% 自己有用感　70.9% （2019（R1）年）	挑戦心　75.0% 達成感　95.0% 自己有用感　75.0%

政策目標4−3　学びを深められる地域資源の継承・発展

- 施策①　文化財の保護・活用と地域文化の継承

指標（政策目標）	現況	目標
有形・無形文化財や福知山公立大学の学術研究の認知度	―	50%

（基本政策7）

市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち

政策目標7−1　働く意欲を支える支援制度の充実

- 施策①　スキル取得やキャリア形成の機会の創出

指標（政策目標）	現況	目標
就業率	56.7%	57.0% （2025（R7）年）

7 資料の種類と見方

7－1　資料の種類

資料は「説明資料」、「補足資料」の大きく２つに分かれており、主に「説明資料」を基に議論を行います。

■説明資料

（1）施策体系シート（１４～１６ページ）

施策について、政策目標の実現のために解決すべき課題、課題解決に向けて取り組むべき対応の方向性及び取組内容（事業）を体系的に表したシート

■補足資料

（2）事務事業評価シート（１７～２０ページ）

各施策を構成する事務事業について、事業ごとに説明したシート

（3）各施策の説明資料

各施策の取組等を議論する上で、説明の根拠となる資料

7－2　施策体系シートの見方

施策体系シート

施　策　名			
基 本 政 策	❶		
政 策 目 標	❷	政策目標成果指標	❹
施　　策	❸	施　策成果指標	❺
担　当　部	❻		
個 別 計 画	❼		

❽「まちづくり構想　福知山」策定時の政策目標実現のために（施策上）解決すべき課題	❾「まちづくり構想　福知山」策定時の対応の方向（左記の課題解決に向けて取り組むべき方向性）
・○○○○○ ・○○○○○	・○○○○○ ・○○○○○

❿「まちづくり構想　福知山」策定以降令和６年度末時点で設定している課題	⓫対応の方向 左記の課題解決に係る令和７年度の取組の方向性	課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）			施策を構成する事業（その他の事業）⓯
		事業名（令和７年度当初予算額）	事業のアウトカム（成果実績）（実績値／目標値）	⓮担当課	
【課題】 ・○○○○○ ・○○○○○ 【背景】 ・○○○○○ ・○○○○○	【方向性】 ・○○○○○ ・○○○○○	⓬ ○○事業 （○○，○○○千円）	⓭ ・○○○○○（%） R２（○○/○○）R３（○○/○○） R４（○○/○○）R５（○○/○○） R６（○○/○○）	○○課	・○○事業 ・ ・
【課題】 ・○○○○○ ・○○○○○ 【背景】 ・○○○○○ ・○○○○○	【方向性】 ・○○○○○ ・○○○○○	○○事業 （○○，○○○千円）	・○○○○○（件） R２（○○/○○）R３（○○/○○） R４（○○/○○）R５（○○/○○） R６（○○/○○）	○○課	基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業（関連事業）⓰
【課題】 ・○○○○○ ・○○○○○ 【背景】 ・○○○○○ ・○○○○○	【方向性】 ・○○○○○ ・○○○○○	○○事業 （○○，○○○千円）	・○○○○○（人） R２（○○/○○）R３（○○/○○） R４（○○/○○）R５（○○/○○） R６（○○/○○）	○○課	・○○事業（0-0-0） ・ ・ ※事業名の後に施策体系コードを記入

【シートを見る際のポイント】

（１）❽「政策目標の実現のために（施策上）解決すべき課題」、❾「対応の方向」は、「まちづくり構想　福知山」策定時（令和３年度）の課題と対応の方向性となっており、策定以降市が施策の取組をおこなう中で出てきた課題と対応の方向性を❿「策定以降、令和６年度末時点で認識している課題」、⓫「対応の方向（課題解決に係る令和７年度の取組の方向性）」に記載しています。

（２）⓫「対応の方向（令和７年度の取組の方向性）」に対応する事業のうち、課題解決に向けて市が重点的に取り組んでいる事業（重点事業）を⓬「事業名」、過去からの経過を把握するため令和２年度以降の実績値（令和３年度以前は、「まちづくり構想　福知山」策定前の実績値）、実績値が把握できない年度については「―」（ハイフン）を⓭「事業のアウトカム（成果実績）」に記載しています。

（３）上記（２）の⓬「事業名」以外の取組事業は⓯「施策を構成する事業（その他の事業）」に記載しています。また、事業成果が基本政策や政策目標の達成に直接寄与する事業は⓰「基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業（関連事業）」に記載しています。

施策体系シートの解説

様式中参照	項目	表の見方・解説
❶	基本政策	「まちづくり構想　福知山」の長期ビジョンに掲げる「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するための中核的な方針となる基本政策名を記載しています。
❷	政策目標	各基本政策を実現するため、分野ごとに達成すべき政策目標を記載しています。
❸	施策	「まちづくり構想　福知山」における施策名を記載しています。
❹	政策目標成果指標	「まちづくり構想　福知山」における政策目標に係る成果指標を記載しています。
❺	施策成果指標	「まちづくり構想　福知山」における施策に係る成果指標を記載しています。
❻	担当部	施策を担当する主要部署を記載しています。
❼	個別計画	「まちづくり構想　福知山」の施策に関連する分野ごとの個別計画を記載しています。
❽	政策目標の実現のために(施策上)解決すべき課題	政策目標の実現のために施策推進において解決すべき課題を記載しています。
❾	対応の方向 (課題解決に向けて取り組むべき方向性)	❽に記載する課題の解決に向けて取り組むべき方向性を示しています。
❿	策定以降、令和6年度末時点で認識している課題	令和６年度末時点での施策についての課題認識を記載しています。
⓫	対応の方向 (課題解決に係る令和7年度の取組の方向性)	令和６年度末時点での施策についての課題認識を踏まえ、令和７年度に既に取り組んでいること及び取り組む予定としていることを記載しています。
⓬	事業名 (令和7年度当初予算額)	⓫の課題解決に向けて取り組む事業で重点度の高いもの、令和７年度の当初予算額を記載しています。
⓭	事業のアウトカム (成果実績) (実績値／目標値)	⓬の事業ごとの指標の令和６年度以前、過去５年間の実績値を記載しています。 令和元年度から令和３年度までについては、「まちづくり構想　福知山」策定前の実績値となります。
⓮	担当課	施策を構成する事業の担当課名を記載しています。

様式中参照	項目	表の見方・解説
⓯	施策を構成する事業 （その他の事業）	施策を構成する事業で⓬に比べ重点度の低いものを記載しています。
⓰	基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業 （関連事業）	施策を構成する事業にはならないものや他の施策を構成する事業で、事業の成果が基本政策又は政策目標達成のために寄与する事業を記載しています。 （⓬及び⓯に記載の事業は除く） 施策体系コードを記入し、どの施策を構成している事業かわかるように記載しています。

【補足資料】　事務事業評価シートの見方

Ⅰ　事業属性

（単位：千円）

事業名	①					事業コード			
政策体系	基本政策	②			政策目標	③			
	施策名	④				施策コード			
事業担当	所属	⑤			所属長	⑥			
⑦　会計情報	款		項		目		会計		決算附属資料		頁
計画期間	開始年度	⑧	終了予定年度	⑨	関連計画名	⑩			R7現在の状況	
根拠法令等	⑪								
⑫　事業区分	☐ 法定受託事務　☐ 国府補助事業　☐ 市単独事業　☐ 内部庶務的事業　☐ その他　（　　）								
関連事業	⑬								

Ⅱ　事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ⑭
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ⑮
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ⑯
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ⑰

⑱　対象者		対象者数	－	単位あたりコスト	⑲
⑳　実施方法	☐ 直接実施　☐ 業務委託　☐ 指定管理　☐ 補助金交付　☐ その他　（　　）				
委託先・実施主体等	㉑				

㉒主な支出に係る業務内容と経費	費目	実績(R5)	主な業務内容	費目	実績(R5)	主な業務内容

Ⅲ　予算執行状況

区　分		R5（評価前年度）	R6（評価年度）	R7（本年度）	R8（要求年度）
予算情報	① 当初予算				0
	② 補正予算				0
	③ 繰越予算	㉓			0
	前年度繰越				
	次年度繰越				0
	小計（①～③）	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源				0
	② 国支出金				0
	③ 府支出金	㉔			0
	④ 地方債				0
	⑤ その他特財				
決算情報	① 流充用額				
	② 配当予算	㉕			
	③ 執行額				
	④ 執行率	㉖ 0.0%	0.0%		
人件費概算	① 従事職員数（正職員／会計年度任用職員）	㉗ ／	／ 0.00	／	／
	② 概算人件費	0	0		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	0		

主な利用特財（N－1年度実績値）	特財名称	㉘	種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
	㉙	達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	㉚	当初見込							
活動内容① (アクティビティ)	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	㉛								

	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	㉜
現状の課題 に対する 改善策	㉝

事務事業評価シートの解説

	様式中参照	項目	表の見方・解説
Ⅰ 事業属性	①	事業名	事務事業評価における事業名を記載しています。
	②	基本政策	「まちづくり構想　福知山」の長期ビジョンに掲げる「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するための中核的な方針となる９つの基本政策名を記載しています。
	③	政策目標	各基本政策を実現するため、分野ごとに達成すべき政策目標を記載しています。
	④	施策名	政策目標を具体的に達成するための施策を記載しています。 政策目標⇔施策、施策⇔事業は、それぞれ目的⇔手段の関係にあります。
	⑤	所属	事業を実施する担当課を記載しています。
	⑥	所属長	評価内容に責任を有する者（課長級職）を記載しています。
	⑦	会計情報	予算の歳出費目を記載しています。
	⑧	開始年度	評価の対象となった事業の開始年度を示しています。
	⑨	終了予定年度	事業の終了予定年度を示しています。
	⑩	関連計画名	「まちづくり構想　福知山」を除き、当該事業の位置付けがある計画等を記載しています。
	⑪	根拠法令等	事業実施の根拠となる法令等を記載しています。
	⑫	事業区分	法定受託事務／国府補助事業／市単独事業／内部庶務的事業/その他　から選択しています。（複数選択可）
	⑬	関連事業	関連事業や目的が類似した事業があれば記載しています。
Ⅱ 事業基礎情報	⑭	背景(現状)	事業を実施する背景や事業における現状を記載しています。
	⑮	課題	事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところを課題として記載しています。
	⑯	事業目的	背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのかを記載しています。
	⑰	事業概要	目的を達成するために講じる事業概要等を記載しています。
	⑱	対象者、対象者数	事業の対象となる者、人数を示しています。
	⑲	単位あたりコスト	令和６年度総事業費(予算ベース)を対象者数で除した数値を示しています。
	⑳	実施方法	事業の実施方法（形態）を示しています。 市による直接実施、民間等への業務委託や指定管理、補助金交付、工事・修繕等の手法により区分しています。(複数選択可)
	㉑	委託先・実施主体等	事業の実施主体が市と異なる場合、委託先や実施主体等を記載しています。(令和６年度実績)

	様式中参照	項目	表の見方・解説
Ⅲ 予算執行状況	㉓	予算情報	当該年度の当初予算額、補正予算額、繰越予算額を記載しています。
	㉔	予算財源内訳	予算額に対する財源を記載しています。
	㉕	決算情報	当該年度の流充用額、配当予算額、執行額、執行率を記載しています。
	㉖	執行率	予算額（人件費は含まない）に対する執行額の割合（百分率）です。
	㉗	従事職員数	年間当たりの業務量(時間)を人員数で示しています。
	㉘	主な利用特財	利用した特定財源の内、主なものを３つまで記載しています。(令和６年度実績額)
Ⅳ 業績指標	㉙	成果指標及び成果実績（直接・短期アウトカム）	事業の目的(施策実現に向けて事業が果たす役割)を踏まえ、政策・施策目標の達成に寄与する指標を示しています。 上段に成果実績、中段に目標値、下段に達成度を、併記しています。
	㉚	活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標及び活動実績(アウトプット)とは、実施者が活動内容(アクティビティ)を実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績を示しています。成果指標及び成果実績を実現するために、必要な活動を行えたかどうかを測ることができる指標を示しています。 上段に活動実績、下段に当初見込みを併記しています。
	㉛	活動内容（アクティビティ）	活動内容(アクティビティ)は、活動指標及び活動実績(アウトプット)、成果指標及び成果実績(直接・短期アウトカム)につながる、事業の具体的な活動を示しています。誰を対象に何を行うのかを記載しています。
Ⅴ 事業担当所属内による自己点検	㉜	定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	事業目的（施策実現に向けて事業が果たす役割）を踏まえ、指標等の達成状況や定性的な面も含めた担当課による評価及び課題を記載しています。
	㉝	現状の課題に対する改善策	現状の課題の解決に向けて、事業をより良いものとするための具体的な取組事項を記載しています。

福知山市
Fukuchiyama city

資料３－２

施策体系シート

施　策　名			
基 本 政 策	❶		
政 策 目 標	❷	政策目標 成果指標	❹
施　　策	❸	施　策 成果指標	❺
担　当　部	❻		
個 別 計 画	❼		

❽「まちづくり構想　福知山」策定時の政策目標 実現のために（施策上）解決すべき課題	❾「まちづくり構想　福知山」策定時の対応の方向 （左記の課題解決に向けて取り組むべき方向性）
・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇	・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇

❿「まちづくり構想　福知山」策定以降 令和６年度末時点で設定している課題	⓫対応の方向 左記の課題解決に係る 令和７年度の取組の方向性	課題解決に向けて取り組む事業（重点事業） 事業名 （令和７年度当初予算額）	事業のアウトカム（成果実績） （実績値／目標値）	⓮担当課	施策を構成する事業 （その他の事業）⓯
【課題】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇 【背景】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇	【方向性】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇	⓬ 〇〇事業 （〇〇，〇〇〇千円）	⓭ ・〇〇〇〇〇（%） Ｒ２（〇〇/〇〇）Ｒ３（〇〇/〇〇） Ｒ４（〇〇/〇〇）Ｒ５（〇〇/〇〇） Ｒ６（〇〇/〇〇）	〇〇課	・〇〇事業 ・ ・
【課題】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇 【背景】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇	【方向性】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇	〇〇事業 （〇〇，〇〇〇千円）	・〇〇〇〇〇（件） Ｒ２（〇〇/〇〇）Ｒ３（〇〇/〇〇） Ｒ４（〇〇/〇〇）Ｒ５（〇〇/〇〇） Ｒ６（〇〇/〇〇）	〇〇課	基本政策又は政策目標達成 のために寄与する事業 （関連事業）⓰
【課題】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇 【背景】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇	【方向性】 ・〇〇〇〇〇 ・〇〇〇〇〇	〇〇事業 （〇〇，〇〇〇千円）	・〇〇〇〇〇（人） Ｒ２（〇〇/〇〇）Ｒ３（〇〇/〇〇） Ｒ４（〇〇/〇〇）Ｒ５（〇〇/〇〇） Ｒ６（〇〇/〇〇）	〇〇課	・〇〇事業（0-0-0） ・ ・ ※事業名の後に施策体系コードを記入

資料３－３

【福知山市 施策レビュー】改善シート

NO.		施策名		氏名	

Ⅰ　政策目標の実現に向けた施策の取組について

項目	※率直なご意見として該当すると思われる項目番号（1～3のいずれか）に ○ をつけてください。		
課題が明確になっているか ・政策目標の実現のために解決すべき課題を明確にしているか	１　そう思う （明確になっている）	２　どちらともいえない	３　そう思わない （明確になっていない）
取組の方向性は合っているか ・課題解決に向けた取組の方向性は理に適っているか ・施策の推進が政策目標の実現につながるか	１　そう思う （方向性は合っている）	２　どちらともいえない	３　そう思わない （方向性がバラバラ）
課題解決に向けて取り組む事業として貢献できているか ・事業に取り組むことで施策目標が達成できるか	１　そう思う （貢献している）	２　どちらともいえない	３　そう思わない （貢献していない）

Ⅱ　施策の有効性について

項目	※該当すると思われる項目番号（1、2のいずれか）に ○ をつけてください。	
政策目標の実現に向けた施策の有効性 ・上記Ⅰの意見内容を踏まえて、総合的に判断していただき、施策の有効性は十分であると思われましたら「1　有効である」施策の取組は必要ではあるが、”有効性は不十分である”と思われましたら「2　有効ではない」を選択してください。	１　有効である	２　有効ではない

Ⅲ　自由記載欄

① 課題解決に向けて取り組む事業（重点事業）について、感想などお気づきの点を自由にご記入ください。

② 施策をより効果的なものにするための改善提案、本日の議論や資料で印象に残ったことや感想などお気づきの点を自由にご記入ください。

資料３－４

福知山市施策レビュー施策改善市民パートナーの皆さまへ

福知山市施策レビューに関するアンケート

本日は施策改善市民パートナーとしてご協力いただきありがとうございました。
今後の参考にするために、以下の点について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

１ 回答者ご自身についてあてはまる事項をご記入ください。

ご氏名	
性別	（　　）
年齢	10 代 ・ 20 代 ・ 30 代 ・ 40 代 ・ 50 代 ・60 代 ・70 代以上
居住地	市内 ・ 市外（　　市・町・村）
職業等	1 会社員　2 自営業　3 学生（高校生）　4 学生（高校生以外） 5 公務員　6 その他（　　）

２ 施策担当部・課（職員）の説明はわかりやすかったですか？

1 わかりやすかった 2 概ねわかりやすかった 3 少しわかりにくかった 4 わかりにくかった	○そう思われた理由やご意見をご記入ください

３ 施策レビューの１コマごとの意見整理・議論に係る時間配分はいかがでしたか？（複数回答可）

1 議論の時間が短かった	2 議論の時間は適切だった	3 議論の時間が長かった
4 全体的に短かった	5 全体的に適切な時間配分だった	6 全体的に長かった
7 その他（　　）		

４ 施策レビューの１日の流れはいかがでしたか？（複数回答可）

1 議論が活発で早く感じた	2 資料がわかりやすく早く感じた
3 議論が適度にあり時間配分が適切だった	4 資料が十分あり時間配分が適切だった
5 議論が活発でなく長く感じた	6 資料がわかりにくく長く感じた
7 その他（　　）	

５ 説明資料を事前配布しましたが、資料の読込みはできましたでしょうか。

1 できた 2 できなかった	○そう思われた理由やご意見をご記入ください

（裏面へ）

６　説明資料のご感想をお聞かせください。（複数回答可）
※議論を行うにあたっての資料の量や見やすさについてお聞かせください。

１　資料の量が多かった　　２　資料の量は適量だった　　３　資料の量が少なかった ４　資料が見にくかった　　５　資料は見やすかった ６　その他（　　）

７　「まちづくり構想　福知山」の推進にご賛同いただける皆さまと共に、市民の幸せの実現に向けて「まちづくり構想　福知山」の取組状況を不断に確認していく必要があるとの想いから「施策改善市民パートナー」として参加いただきましたが、今回の施策レビューはいかがでしたか？

１　参加してみてよかった ２　施策改善推進委員 だけでもよい ３　どちらともいえない	○そう思われた理由やご意見をご記入ください

８　今後、このような参加機会があれば「施策改善市民パートナー」としてご協力いただけますか？

１　協力したい ２　内容によって協力したい ３　やりたくない	○そう思われた理由やご意見をご記入ください

９　施策レビューに何を期待されますか？（複数回答可）

１　市民への説明責任（市民参画の促進） ２　客観的な指標に基づいた施策の進捗状況の見える化 ３　より効果的・効率的な地域課題の解決に向けた施策の取組内容の改善 ４　職員の意識改革 ５　その他（　　）

10　その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。本アンケートは受付の回収ボックスにご提出ください。

福知山市施策レビューを傍聴された皆さまへ

福知山市施策レビューに関するアンケート

本日はご来場いただきありがとうございます。
今後の参考にするために、以下の点について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

１ 回答者ご自身についてあてはまる事項をご記入ください。

性別	（　　）
年齢	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・60代 ・70代以上
居住地	市内 ・ 市外（　　市・町・村）
職業等	1　会社員　　2　自営業　　3　議員　　4　学生 5　公務員　　6　その他（　　）
傍聴のきっかけ	1　ホームページ　2　ＬＩＮＥ　3　新聞　4　知人の紹介 5　その他（　　）

２　説明資料は、わかりやすかったですか？

1　わかりやすかった 2　概ねわかりやすかった 3　少しわかりにくかった 4　わかりにくかった	○そう思われた理由やご意見をご記入ください

３　傍聴いただいた施策担当部・課（職員）の説明はわかりやすかったですか？

1　わかりやすかった 2　概ねわかりやすかった 3　少しわかりにくかった 4　わかりにくかった	○そう思われた理由やご意見をご記入ください

４　施策レビューの１コマごとの意見整理・議論に係る時間配分はいかがでしたか？（複数回答可）

1　議論の時間が短かった	2　議論の時間は適切だった	3　議論の時間が長かった
4　全体的に短かった	5　全体的に適切な時間配分だった	6　全体的に長かった
7　その他（　　）		

５　施策レビューの１日の流れはいかがでしたか？（複数回答可）

1　議論が活発で早く感じた	2　資料がわかりやすく早く感じた
3　議論が適度にあり時間配分が適切だった	4　資料が十分あり時間配分が適切だった
5　議論が活発でなく長く感じた	6　資料がわかりにくく長く感じた
7　その他（　　）	

（裏面へ）

６　今後も施策レビューを実施した方がよいと思われますか。

１　実施した方がよい ２　実施しない方がよい ３　どちらともいえない	○そう思われた理由やご意見をご記入ください

７　施策レビューに何を期待されますか？（複数回答可）

１　市民への説明責任（市民参画の促進）
２　客観的な指標に基づいた施策の進捗状況の見える化
３　より効果的・効率的な地域課題の解決に向けた施策の取組内容の改善
４　職員の意識改革
５　その他（　　）

８　その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。本アンケートは受付の回収ボックスにご提出ください。